(明治卅八年十月二十五日第三種郵便物認可) 昭和五年七月二十八日 THE MANSHU NIPPO (月曜日) 第八千七百三號 (一)

夕刊 滿洲日報 七月廿七日

條約案の精査附託 大體來週の豫定
下審査あすから續行

【東京廿七日發電通】二十六日開始されたロンドン條約に關する樞府の下審査は第一日にて既に第一章を終る模樣で關係書類を攜へ廿六日午後輕井澤に赴ける二上書記官長は廿八、九日歸京し廿九日より引續き下審査を續行する豫定であるが本條約案は日英佛三國で特に嚴密なる研究を要する議論もあるので約一週間を要する見込みである而して本條約案を附託すべき精査委員の決定も大體來週の豫定である

與黨の減稅方針 近く具體的に進言せん

【東京廿七日發電通】民政黨は軍縮剩餘金は主として減稅に充つべしとの方針から國民負擔輕減に關する委員會でこれが調査の歩を進めて居るが、愈々ロンドン條約も樞府に諮詢され海軍補充計畫も樹立される運びとなつたので更に近く具體的に減稅に對する黨の意嚮を纏め政府に進言すると共に海軍側にも熟と諒解を求めて出來るだけ多額の減稅財源を求むべしとの議が起つて居る、即ち海軍側では條約の精神に鑑み軍縮剩餘金全部を補充計畫につぎ込むごとき横暴な態度に出るとは信ぜられぬが主力艦建造中止により浮ぶ財源は明年度にて約二千萬圓近くあるからこの內から砂糖消費稅織物消費稅の廢減營業收益稅免稅點引上げだけは是非共實現し與黨として公約を果すべきであるとこれが實現を期して居る

軍縮聯盟から請願書

【東京二十七日發電通】ロンドン條約に關し活動し來たつた山路一善、頭山滿氏等一派の海軍軍縮聯盟國民同志會有志は樞府に條約案を御諮詢になつたのを期とし二十五日請願書の上奏方を請願した

大藏證券は 預金部へ乘替へ

【東京廿七日發電通】來る廿九日償還期限到來のと號大藏省證券八千萬圓は全部預金部に乘替へる事となつた

東鐵運輸會議

【ハルビン特電二十七日發】東鐵にては過般來營業課の運轉係と汽車課の車輛係の代表者會議を開催し貨物車運轉及運轉表に基く貨物の急送に關する問題を討議中であるが、改正案は貨物運行に關係ある各方面に最も實質的のものであることを主眼とし歐亞直通貨物連絡の開始による急送貨物の取扱其他運行上の改正が決定される筈

東鐵代辦所改善
支那內地支部を充實

【ハルビン特電二十七日發】東鐵商業課の各地代辦所は撤廢し事業を縮小して經費節減を圖ることに決定したと支那側は報道してゐる然し東鐵商業課の組織及び事業の改革に關する研究は代辦所を全部閉鎖する意味ではなく

代辦所の事業の單一化即ち從來東支沿線に設けられてあつた代辦所はこれを當該各驛に包含し現在最少限度の事務をより自由の範圍に擴大するにあり、改革の目的とする點は貨物を發送する場合、倉庫から倉庫への取扱は鐵道において仲介する時、荷受人は倉庫において仲介はしない又事業の單一化としては從來沿線に設けられてあつた代辦所で取扱貨物が少ない箇所はこれを廢止して驛と合併し、驛長がその責任を負ひ代辦する、從つて總ての運輸、輸出に關する事務及び倉庫業は矢張り商務代辦所が取扱ひ驛では仲介事務は取扱はないだらう本問題は近く

理事會に附議され決定をまつて實施するといふのである、これは從來東鐵商業部が無闇に支所を設置したのを全部東支沿線で營口、大連、浦鹽、上海、天津の如き地方の支部を一層充實し直通連絡の取扱に積極的活動を開始するにあるといはれてゐる

少年航空兵制度 愈よ實施か
近く調査會で審議

【東京廿七日發電通】陸軍の航空委員會では豫てから少年航空兵制度實施につき研究中であつたが最近大體成案を得たので近くこれを軍制調査會に移し軍制改革の一事業として實施する筈である、右は航空兵科は他の兵科と異り極めて複雜なので二年の在營では所期の目的を達し得ぬによるものであるが航空委員會の案の內容は大體次の如し

一、滿十八歲の少年を志願兵制度によつて募集し所澤飛行學校に一年若しくは二年在學せしめた上全國の飛行聯隊に配屬す

一、右志願兵には飛行機の操縱はさせず機關電氣裝置その他技術方面のみに當らせる

一、この制度實施と同時に機關工率電氣工率その他の技術關係工率を廢し若しくは減員する

大衆黨地方支部
合同完成指令を發す

【東京廿七日發電通】全國大衆黨は去る廿日の合同大會において中央部における形式上の合同は成立を見て居るものゝ地方においては各黨相對立して居る處が多いので黨本部は昨廿六日各地方部に對して直ちに合同協議會を開き一ヶ月以內に合同を完成する樣指令を發した

大森新理事
廿七日出發赴任

【東京廿七日發電通】滿鐵新任理事大森吉五郎氏は廿七日午後九時四十五分東京發赴任した

理想、不平矢繼早に 總裁の前に暴露
和やかな氣分で時折笑聲爆發
滿鐵支社の懇談會

【東京特電二十七日發】仙石滿鐵總裁と東京支社員との膝をつき合はしての所謂懇談會は既報の通り廿六日午後二時二十分より支社において開かれたが、出席者は仙石總裁以下伍堂、大森、神鞭の各理事、大淵支社長並に

約四十名の社員であられ……を嚙ぢり合ひアイス、ウオーターを飲み乍ら漫談會氣分で開催された、劈頭總裁から先づ袴を取つた、その日の會合の主旨を述べて後は大淵支社長が進行係を勤めて、平素總裁に會へない人、學校出たての元氣な若い社員などになるだけ多く忌憚なき意見を發表せしめやうに苦心した甲斐あつて、約二時間半に渉り出るは〳〵、滿鐵のタイプライターの縱横書の能率の比較論から、本年度更正豫算の遲延理由、各種の社業改善論、滿蒙根本對策、果ては總裁の社員「馬鹿ッ」呼ばはり問責論まで飛び出して

總裁に迫つたものである

その間總裁は矢繼早に集中されるこれ等の意見を默々として聞いてゐたり、ドカンとテーブルを打つて「それはからぢや」とばかり若い社員の純理論一點張に駁擊を加へ、或ひは彼等の不滿な問題に對して諄々と懇切な說明を與へたりしてゐたが、會議室では時折り爆發するやうな笑聲、拍手などが起り一寸その邊の官廳は勿論、大會社でも見られぬ自由な和やかな雰圍氣を作り出してゐた

總裁貴方は滿鐵社員は眠つてゐるといはれたさうですが怪しからんですね

と元氣な社員が今日こそとばかり肉薄すると

誰が君が眠つてゐるといつたか大體がそうぢやといふのぢや

と輕く一蹴する、また

社員から理事を拔擢しないといふことは甚だ不都合である、なぜ外部からのみ任命するか

との問に對しては

どんな人材が社員にゐるのか知らんが俺には解らん、かういふことは今日は好いチヤンスぢや さういふ人物はその存在を俺に示してくれなきや困るぢやないか、自薦も他薦も皆無で、おまけに俺の所へは話をしに來い、何でも好いから意見を持つて來いといつても一向それを實行するものがない、それで人材拔擢もないではないか

とばかり總裁も

理論整然

と逆襲する、社員側でも主任の某氏の如き「歷代滿鐵幹部の更迭と社員の立場」につき堂々の論陣を張つて正面から總裁と一問一答勇敢に渡り合つたのは見事であつたといはれてゐる、かくて進行係の大淵支社長が潮時を圖つて三回も閉會を奨めたにも拘らず老總裁ナカ〳〵聞き入れず熱心に二時間半に渉る意見交換を行つたが總裁の胸中果して「滿鐵社員にも齒ごたへのあるのがゐる」と思つたかどうか、備當日總裁の前で吐露された意見中近く文書を持つて監査委員會に提出される問題が數件あるといはれてゐる

日曜閑話
張子房の如き汪氏
孫文の智囊、支那革命の元勳

亡命放浪、これ革命家の常態であらねばならぬ。孫文が東西南北一生を安定すべき家だになかつたのは彼が革命家としての運命を辿つたものといふことが出來やう。併しレーニンなども然りであつた。併し彼らは酬ゐられた。偶像にまで祀り上げられる騒ぎである。

× ×

汪精衞君も生ッ粹の革命家といふことが出來やう。五十に垂んとする今日まで東亡西放、日本にフランスに、かつて安住の地を發見せぬものゝやうである。孫文歿後彼の地位は蔣介石に對し、ロシアのスターリンに對するトロツキーの如きものであつた。理論鬪爭においては、革命支那中、彼の右に出づるものは絕無といつても誇張ではあるまい。

この理論鬪爭の勇者たるの結果今日、總轄不遇の放浪を餘儀なくせしめられたともいふことが出來やう。すくなくとも彼は孫文歿後孫總理の直系を以て任じ、三民主義の祖述者、五權憲法の擁護者、建國方略の實行者、國民黨の支持者を以て任じてゐるの結果、舊軍閥、新軍閥と相容れず、南方人の特有たる虹の如き理想を總ふて今日に至つたものともいふことが出來る。このところトロツキーのロシアにおける關係と酷似してゐる。

× ×

併し、誰が何といふても汪氏は孫文歿後の革命元勳であり、國民黨の元老である。二十餘年に亘り孫文と生死を共にし、形影相伴ひ北京において孫の將に死なんとするや、汪氏は枕頭にあり遺言を手筆したほどであつた。

併し理想と現實とは必ずしも一致せず、孫文の理論、必ずしも支那の實情に當てはまらず、頑固なる方面ではアレは西洋の翻譯思想なりなどゝ稱する有樣であつた。抽象的なる三民主義、殊に民生などの解釋に至つては、國民黨の幹部といへども一致を見ず、容共、排共などの問題を惹起することさへあつた。而して汪氏は今日、いはゆる改組派といふ左傾派を以て目せられてゐるのである。

× ×

この汪精衞氏が忽然として北上し反蔣聯盟たる北方に參加せんとするのであるから、北方からは第二の孫文として彗星の出現の如くに觀られたも當然のことゝいはねばならぬ。

殊に革命理論の鬪爭において第一人者とされてゐる汪氏が、偏激主義に支持されてゐる閻百川、馮煥章、革命右派を以て任じてゐる西山會議派の人々と、果して握手を合はし行くことが出來るかどうかと多大の疑惑を以て今後の成行が注目されてゐる。

× ×

汪氏の風手は一見婦女子の如くモノをいふにもハニかむかに思はるゝほどのヤサ男である。寡言沈思、餘り多くを語らず、むしろ默々として談論風發といふやうなところはない。嘗て來連の折、日支人十數と登瀛閣に會した。相生鐵牛、彼を評して張子房と稱したが當らずといへども遠からず否、蓋し的中の適評であつたと思ふ。座にあり詩を賦し、それを詩せしが、必ずしもモボ流のハイカラでもなく、酒もまた餘りに拙なりといふことは出來ぬ。夫人陳氏璧君、また內助の功偉なりといはねばならぬ。この點、蔣介石夫人宋氏美齡などとは同日に談ずべからざるものがあるやうだ。(この書は當時汪精衞氏が來連日所懷を書して記者に示せるもの)

互助 汪兆銘

愈よ何應欽氏 武漢引揚げ
蔣氏に代り隴海線擔任

【漢口二十六日發電通】何應欽氏は愈々一兩日中に津浦線方面に轉ずべく漢口行營所屬軍事員等も大部分隨行する事となつた何應欽氏の漢口出發は左の理由に依ると云はれる

一、武漢抽兵準備
一、蔣介石に代り隴海線方面を擔任す
一、徐州行營主任賀耀祖と交代す

製糸工場の休業狀態
益々續出す

【東京廿六日發電通】農林省蠶糸局發表に依れば、七月二十三日現在製糸工場休業狀態左の如し

▲群馬縣休業工場十一、從業員數七百三十九名 ▲長野縣休業工場九、從業員數二百五十名 ▲山梨縣休業工場十三、從業員數四百五十名 ▲富山縣休業工場七、從業員數六百名 ▲愛知縣休業工場三十三、從業員數五千五百名

徐州驛に着いた中央軍の武器と彈藥

一週間經つても 張學良氏會はず
依然冷遇される南京派代表

【奉天特電二十七日發】張群、吳鐵城、方本仁氏等の南京派代表は張學良氏の實召により王樹常、王樹翰兩氏附添ひ葫蘆島に赴いたが信ずべき筋の消息によれば張群氏等が赴錦して既に

一週間を經たるに拘らず張學良氏とは未だ一回も會見せず毎日王樹常、王樹翰氏等と麻雀などに戲れて纔に退屈を紛らはしつゝ學良氏にお目通りの叶ふのを待つてゐるといふ冷遇振りである、學良氏が遲々乍ら兎も角も張羣氏等との會見を承諾し葫蘆島に召致して置き乍ら遽に態度を變へて會見を拒むでゐる理由は推測に苦むが中央軍が全力を津浦線に集中して濟南奪回を謀り一時その成功を望まれたが如何りなく隴海線方面に危急を告げ津浦線の兵力を割いて隴海線に振向けたので濟南奪回は絕望に終り膠着狀態を呈するに至り一方汪兆銘氏の北平乘込みによつて

北方側の氣勢頓に揚るに至つたので張學良氏はこの變化に鑑み南方派との深入りを控へるを得策とし張群氏等との會見を忌避してゐるものと想像されてゐる、東北側要人中にも張群氏に速かに南方に引揚げたらと勸告する向もあるが張群氏としては一ヶ月の時日を空費して何等の結果無く空しく引揚げることも出來ず進退兩難の苦い立場に置かれてゐる模樣である

二十有餘星霜の 海の生活を去る
大連港二人のパイロット

昨年八月大連港水先人組合規則の改正により今回同組合を勇退する事になつた瀨口澄[illegible]氏並びに森初太郎氏の兩氏は愈々本月卅一日限り廿餘年の慣れた生活を捨て閑職に就く事となつた、兩氏ともにその技術方面と實力については國際的にも折紙を附せられてゐる

◇

瀨口氏は安政五年生れ薩州の藩に度胸骨を鍛はれ、明治維新のゴタ〳〵にも顏を出し、酒間興づれば西南戰爭の功名話に花を咲かせ、七十餘歲には見えない矍鑠ぶり、ブリッヂに立つてゴウエイ、ゴーストップに勇壯なる風手をうたれてゐた

◇

一方森氏は元治元年生れ佐賀の士族小兵ながら壯者をしのぐ概があり五米突六米突のジヤコップを猿のやうに驅けあがる樣は例へ慣れたりといへど驚嘆の限りである

◇

瀨口氏は明治十五年初めて練習生として帆船に乘込んだのが皮切りで空知丸外十三隻の船舶を操從し浦賀ドックの船渠長より轉じてパイロットになつたものである

◇

森氏は商船會社で岳陽丸布引丸その他數隻の船長の經驗を有し特に當時の書類には韓國沿岸、清國沿岸航路に熟達してゐると記されてゐる、何れも風雨波浪と鬪ひ重實を果し得た過去二タ昔を述懷すれば感慨又深いものがあらう

東鐵運輸成績

【ハルビン特電二十七日發】東鐵の本月一日から廿日までの輸送成績は全部で一六五九八貨車、そのうち輸出五五七八車、輸入其他四四二一車、昨年の同期は二〇四六三貨車で、三八六五車減、輸出七七八〇、輸入其他六五四一であつた、本月の南行二五九七ウスリー二九七二車、滿洲里は九車であつた

關東廳辭令(廿六日)

任關東廳中學校書記 昭井隆吉
任關東廳中學校教諭 勳七等功七級 中島政治
關東廳中學校書記 日下辰太
關東廳事務官 臨時馬政委員會委員を命す 田崎武八郎
臨時馬政委員を囑託す 渡邊中
臨時馬政委員を解く

あめりか丸

廿八日午前六時大連港外着の豫定

人事

▲大庭讓太郎氏(日本生命京城支店長)二十六日二十時半急行列車で來連ヤマトホテルへ
▲鈴鹿登氏(歌人)二十七日入港のばいかる丸で來連
▲德田治三郎氏(神戶製鋼所取締役)同上
▲三毛邁氏(東京慈惠會醫科大學校步兵少佐)同上
▲市川鐵造氏(滿鐵鐵道部經理課長)同上歸連

天氣豫報

廿八日(南東の風)曇

各地溫度

	十一時	昨日最高
大連	二七、〇	二六、九
旅順	二七、四	二七、八
營口	三〇、八	三一、七
奉天	三一、〇	三二、九
長春	三〇、五	三三、四

滿潮 午前十一時
干潮 午前五時三十分 午後六時三十分

廿年に亘り蒐めた 維新前後の史實

史料編纂所で稿本出版を計畫

【東京廿六日發電通】維新史料編纂所が明治四十四年五月設置されて以來廿年間に亘つて蒐集し得た維新前後の史實は現在稿本三千八百册（一册日本紙百枚）に達したが編纂所では日本歷史の上に特筆大書さるべき維新大業の眞相を廣く國民に知らしむると共にこれが永久保存の一方法として稿本を出版すべく目下計畫中である、右の史料は弘化三年孝明天皇御卽位の時代より明治四年廢藩置縣に至る廿七年間の史實を細大漏らさず集めたもので完成迄には尙數年を要する見込みである今日迄は保存法として稿本の外タイプライター印刷五部を作製一部は編纂所殘餘は明治神宮、宮內省、京都御所外一ケ所に一部宛保管されてあるがこの種文獻として僅々廿七年間の事實を詳細に網羅せる點において世界にその比を見ざるものといはれて居る

三つの競技には 優勝の自信

けふ奉天を通過北行した 女子オリムピツクの我選手

九月六、七、八の三日間チエツコのプラーグで開かれる第三回萬國女子オリムピツク大會に出場の日本選手人見絹枝孃他五名の選手は京都二條高女井尻教諭に伴はれて本廿七日十三時着列車で元氣に多數の關係者に迎へられて着奉したが井尻氏は語る

日本が團體として參加するのは今度が初めてゞこの前の第二回大會には人見選手が一人參加しました、今度は是非三四回は優勝の日章旗を揭揚したいと思つてゐます、殊に走幅跳、二百米三種競技には充分の自信があり人見選手以下一同非常な意氣込でゐます、日本は八百米競走以外には全種目に申込をしてゐますが、人見選手は八百米以外は全種目に出場の筈です

一行は到着後直に北陵見物に自動車を走らせ盛大なる見送り裡に十五時五十六分發の列車で長春に向つたが、プラーグには八月十日到着の豫定である、尙一行は十一月六日神戸着の船にて歸國の筈

日本女子選手 今夜着長

谷監督に引率され一行六名

【長春特電二十七日發】來る八月十五日よりプラーグで開催の第三回國際女子オリンピツク大會に出場の日本代表選手一行は廿七日午後九時着列車で來長、同十一時四十四分發列車で哈爾賓に向ふ豫定である、一行のメンバーは

主將人見絹枝（大每）大庄ハツ子（京都二條）渡邊スミ子（名古屋高女）中西ユキ子（京都二條）村岡美枝（愛知第一高女）濱崎ちよ子（京都二條）の諸孃と監督の谷三三五氏であるが長春高女では歡迎會を催す筈であると

五年間增俸停止

其金を研究費に充當 東北大學の大決心

【仙臺二十六日發電通】東北帝國大學では昭和五年度實行豫算が一割五分天引の大斧鉞を受けた結果研究資料や實驗機械の購入費が半減され研究に大支障を來したので教授助教授講師の增俸を五年間停止して過剩金を研究費に當つる事となつた

日支のお客様で

デパートそこのけの賑ひ 大連驛構內で開催 滿鮮列車見本市

大阪貿易振興聯盟會主催の滿鮮列車見本市は二十六日より二日間大連驛構內（岩代町停留所より北へ約一丁）で公開された、初めての試みであり金取引の上に一番密接な關係を有つ大阪商品のことゝて日支關係者の縱覽で非常な賑はひを呈してゐる、日本商品は三等車の座席を取はづして四輛の車に陳列し場內は隨々と中どころのデパートそこのけの充實ぶりであり、扇能理事は語る

七月十五日釜山を振出しに滿洲では安東、奉天を終へて二十七日限り大連で解散することになつてゐる、參加商店は大阪で有數の十二商店で服裝雜貨類はどんなものでも一式取揃へこの價格十二萬圓にも達してゐる、初めての試みとて華客を惹きつける上にどうかと心配してゐたがこの通り盛況で取引契約も豫想以上の好成績を收めることが出來た

尙列車見本市で使用した從事員の蒲團及び湯のみ類三十五人分は二十七日限り不要になるので適當な慈善團體に寄附したい意向である、希望者は直ちに申出られたいと（寫眞上は見本市列車陳列の車內）

ダブルスで 佛國快勝

デ杯佛米決勝戰

【東京特電二十七日發】パリよりの着電によればデ杯庭球チヤレンヂラウンド米佛試合第二日ダブルスは佛コーシエ組左のスコアで勝ち、佛二勝一敗となり第三日シングルスに一勝せば再び世界覇權を得る事となつた

(佛)		(米)
コーシエ ブルニヨン	六―三 七―五 一―六 六―二	アリソン ヴアンリン

コーシエ・ブルニヨン組は兩選手がダブルスにパートナーとなつて以來最も立派なプレーを見せ最初から優勢で、アリソン、ヴアンリンの苦鬪も甲斐なく第一第二セツトはフランスのものとなつた▲第三セツトに入るやアメリカ漸く調子を整へ容捨なくブルーニヨンの虛を衝いてゲームを得六對一と斷然引き離して第三セツトを得、試合は全く白熱的となつたが第四セツトはコーシエ・ブルーニヨン組再び素晴らしいフオームを見せアメリカに逆襲の機會を與へず遂にセツトを許したのみでフランスの勝となつた、アリソンは時折り見事なプレーを見せ一流選手の貫錄を示した

ボ選手に叙勳

【パリ廿六日發電通】フランスザ杯庭球選手ボロトラ氏はチヤクシエヴアリアレヂオンドウノール「レヂオンドウノール勳位の最下級の勳章」に叙せらるべき旨廿六日官報にて發表された

最近の米國

野球は下火 蹴球が全盛

禁酒法反對漸く多數

一年十ケ月米國ジヨンス・ホプキンス大學に留學し今回歸奉せる滿洲醫大助教授醫學博士稗田憲太郎氏は語る

現今米國における運動界は一時全盛を極めてゐた野球はすたれ各大學ともフツトボールが人氣を集めその

勇壯さは 日本のラグビー戰以上である、又フツトボールの規則は日本と全く異にし一呎を爭ふまできつく出來上つてゐるので一シーズンに何十人といふ犧牲者を出した程であるその後規則が幾分緩和されたがそれでも十數名の犧牲者を出してゐるといふ猛烈さを示してゐる、それだけに選手も多く最も牛耳を握つてゐるノートルダム大學では學生の大部分がフツトボールの選手であるといふことである、米國の風習として日本で見られぬ事はお金のためなら何でもやるといふ主義で職業に貴賤の別を立てぬ米國では大學の教授でも

收入の多 い野球の職業團に加はるものが多々あるといふことで無論將來お金にならなければ勉强もしないし、博士にもならぬ學生であつても他に何かよい金儲けがあればすぐやめて就職するといふ現狀である、現在米國の野球界はフイラデルフイア、ワシントンの兩大學が全盛時代であるが何にしても各大學の學生が忍耐力强く眞面目であることには全く驚かされた、それから米國が盛んに唱へてゐる禁酒問題はその主旨は酒を飮むな、酒を賣買してはならぬといふ譯でなく酒を持ち運んではならぬといふ變つた

禁酒法で あるから酒を運んでゐるのを發見でもされたら極刑に處せられるが自分で造つた酒を自分で飮み又賣つてゐる處で買ひ求めて飮んでゐるだけなら處罰されるやうな事はない

しかし酒を飮めばどうしても酒の持ち運びが必要となつて來るのでその間色々な犯罪が行はれる卽ち自動車、飛行機、パイプ等で日本では想像もつかぬやうな大膽な密輸入をやつてゐる、海岸なんかもよく行はれるとで當局では砲艦を巡航せしめて密輸入者を取締つてゐるといふ有樣であるしかしこの禁酒法施行によつて學生等は益々酒を飮み

上流社會 は酒がなくては社交が出來ぬといつた狀態で近頃では禁酒法案撤廢方に贊成してゐるものが大多數を占めてゐるやうである、近來米國では婦人の有權者多數を占めしかも婦人の收入は却つて增加するばかりで米國側某有力者の統計によるとこの調子で進めば五年後には稅金の半分以上は婦人が納めるやうにならうといふことである（奉天特信）

毎日百圓以上の 金目の物を掘る

失業者には飛んだ儲けもの 芝浦埋立地に八萬圓の埋藏物

【東京廿七日發電通】芝浦埋立地に金目の金物が出るといふのでヨナゲが入り込んで採取し始めたのが四月十七日それから三月あまりたつた七月十四日迄の掘出し物の總額は六千十圓卅錢でヨナゲの延人員三千五百十八人一人當り一日の採取高の平均一圓七十錢餘に當る譯で初めの內は二三十名で一日價額にして二十圓から五十圓位迄であつたが七月にいつて激增し毎日百名から百五十名多い日には二百名近くのヨナゲが目を尖らして金物を掘出し毎日百圓から百七十圓迄の價格を掘出して居るが金銀銅鐵などの外にダイヤモンドが二個も掘出された、何にしろ天賞堂や服部時計店三越などのある銀座日本橋、京橋の燒灰をこゝに捨てたので今年一杯は採掘出來る見込みで約八萬圓位の金物が埋藏されて居る模樣である、入場料十錢さへ拂へば採掘勝手で一日平均一圓から一圓五十錢位はかせげるのであぶれた失業者にはもつてこいのものである

日本大相撲 愈々あすから

人氣を呼ぶ本社優勝旗爭覇戰 電園下で晴天五日間

櫓太鼓の音も勇ましく待ちに待たれた日本大相撲協會西方力士、横綱宮城山、大關豐國、玉錦一行の當地電氣遊園下での晴天五日間の大相撲は愈々二十八日より好角家連中の熱狂裡に蓋を開くことになつたが既報の如く今回東方より新たに玉錦、若葉山兩力士が加はつたので一層人氣を呼んでゐる、本社は今秋當地に於て滿洲最初の學生相撲大會を擧行するにつき例年の如く斯道奬勵のため、東西兩力士五日間の勝星總得點數の多き方に大優勝旗を、同幕內旗手には金メダルを、又幕下力士の個人決勝戰を行ひ優勝者に金メダルを、二三等に銀メダルを授與することになつたと

內地は殺人的 不景氣

市川經理課長談

滿鐵々道部經理課長市川數造氏は二十七日入港のばいかる丸で歸連左の如く語る

往復三週間の飛脚旅行でしたから別に面白いお土產話しもありません、內地は殺人的不景氣と苦熱に喘いでゐることは實に豫想以上です、昭和製鋼所問題は新聞に傳へられてゐる通りですが、總裁が歸らるれば面白い土產話はあると思ひます、總裁は鞍山說のやうですが、さてどうなりますやら今のところ全然不明です、服部顧問には東京で一寸會つただけです

風雲を志し 二千圓拐帶

けふ水上署員に捕はる

田舍の父のもとでお店の番をするのが嫌になり廣々とした滿洲の平原で何か一旗上げんものと父がコツ／＼と貯蓄した虎の子二千圓を拐帶して當地へ高飛びしたが、田舍からの保護願ひでバイカル丸三等室で水上署員に取り押へられた青年があつた、名は石上淸治（二四假名）といひ福岡縣田川郡添田町の雜貨商の二男であるが、生來何か大成したいといふのが彼の希望であり當地に叔父がゐるのを幸ひに高飛びしたのであると彼は語つてゐた、水上署では一先づ伊勢町の叔父某のもとへ身柄をあづけることになつた

伊國地震の 死傷者二百名

【ローマ廿六日發電通】イタリー地震の死傷者今迄判明したるものの死者二百十四名、負傷四千五百五十一名と公表された

俳人野風呂氏 滿洲行脚

內地關西における俳句ホトトギス派の重鎭にして京都にて俳誌「京鹿の子」を主幹し現武德會體育學校講師鈴鹿登（野風呂）氏は暑中休暇を利用し在旅順の令弟を訪問旁々滿鮮視察を兼ね俳句行脚を思ひ立ち二十七日着ばいかる丸にて來連したが當地平原俳句會は大連俳句會と聯合近く歡迎俳句大會を催す由、氏は左の如く語る

御當地は初めてです、弟が旅順にゐますから父を遊びに連れて來るついでに來たやうな次第です滿洲は私のあこがれの地ですから父を旅順に殘し豫定も決めずにブラリ／＼と沿線を歩き廻るつもりです

慶大選手歡迎會

大連三田會では二十六日夕刻より星ケ浦星の家において慶大野球部歡迎會を開催、出席者八十名近年珍らしい盛會で先づ石村氏の開會の挨拶ありつゞいて腰本監督は野球部を代表して謝辭を述べ、宴たけなはになりて一同應援歌を高唱しこれに答ふるに選手一同はエールを唱へ時の過ぐるを忘れ十時半散會した

リスアニアの 前執政官流刑

【コヴノ廿五日發電通】當地官憲は二十四日夜前執政官ヴオルデマラス氏を公の秩序を攪亂したる罪にて逮捕し直に同氏をコヴノより追放し一年アンクロチンゲンに流刑に處した、氏の夫人は流刑地に同行した

夏家河子の 水泳場ひらき

滿鐵地方部及び鐵道部は二十七日夏家河子に滿鐵出入記者團を招待し水泳場開きの宴を張つた

衛生研究所集談會

滿鐵衛生研究所では來る廿九日午後一時から同町圖書館で左記演題の下に第卅三回學術集談會を催すと

一、市販殺蛆劑の效力比較研究 會田安茂
一、滿洲金蠅の發生學的知見補遺 會田安茂
一、仔豚より分離せるパラチフス屬桿菌に就て 安藤守之助、坂木寬吉郎
一、支那食研究（その一）柴藤貞一郎、渡邊正夫

自轉車乘昏倒す

二十六日午後九時二十分、市內淡路町山縣通十字路を小崗子福德街三三殷成既（二〇）が自轉車に乘り疾走中大タク運轉手姜安昭（二〇）の操縱する自動車と衝突し殷は一時昏倒したが、直ちに恢復、自轉車は小破した

家出娘兄の手に

過日女の身一つで玄海灘を橫切り當地に逃げて來た山口ヨシ子（假名）は廿七日朝ばいかる丸で迎へに來た兄榮太郎に身柄を引渡した

愛子さん二三日 哈市に滯在

【ハルビン特電二十七日發】目下當地にある高島愛子さんは尙二三日當地に滯在の豫定である

納涼大會開場

市內連鎖商店前廣場に設備中であつた法律時報社主催大連市役所後援の市民納涼大會々場は準備全く整ひいよ／＼本二十七日午後六時から華々しく開場されることになつた

侠艶一代男（7）

米田華紅作
伊藤幾久造畫

神田祭の夜（七）

「どうぞ御免なされまし！」

一葉は身を一層に縮め、加州藩の大塚源十郎と呼ぶ侍に引き立てられまいと、力を籠めて脫れやうと懸命に爭つた。

「判らぬ奴ぢや。お前の身は拙者が金で買ふてある。氣儘氣隨は許さんぞ。さア參れッ！　拙者の座敷へ戻れと申すに！」

「あれえー」と、手荒く引き摺つて行くのに耐へかねてか？　悲鳴を揚げて、身をもがいた。

「おのれ！　拙者を侮辱する積りぢやな。かうなれは拙者も意地づくでも座敷へ引摺つて行き、自由にして見する」

酒の醉も手傳つてはゐるが、無理に妓を引拘へてでも行く風に、腰の帶へ手をかけた。

「嫌です！　嫌でございます！　開いた風のことを吐かし居るな　賣りものに買ひもの！　今宵一夜はお前の身を燒いて喰はうが、煮て喰はうが、拙者が意の儘ぢや。立てっ！　立たぬな。立たぬとあれば、腕の一本や二本、折つぺしよつても引摺つて行くわ」

遮二無二、太い逞しい兩腕を擴げて、一葉の小柄な身を抱くと、その儘に小腋に掻つ攫つて行かうとした。

「待てッ！　三ぴん！　いやさ加州藩の御武家とやら、少し待つてくれッ！」

見るにみかねたか、溜りかねたか？　か組の清吉が聲をかけた。

金次はむづ／＼と腕が鳴るか、先刻から齒を喰締めて、清吉と鐵太郎の方ばかりいま／＼しさうに見つめてゐた。そこへ今り一聲、清吉がジッと耐へに耐へた癇癪玉が破裂した。

「何とお仰せられても嫌でございます」

他眼にもいぢらしい位に、頭を横に激しく振りながら、什麼したわけか？　嫌ひ拔いてゐた。

「うむ！　飽く迄も拙者を振る氣か？」

源十郎の眼が憎悪にジリ／＼と火と燃え上りさらに血走つて居る

「お許しなされませ！　そ、それはあまりに御無體でござんす」

「無體か？　無理か？　百も承知だ！　堀江で名の賣れた叶家の一葉に、拙者が振つて振つて振りつけられたとあつては、拙者の一分謬りか、加州藩の名が立たぬ」

無理難題と云つて、これ程に勝手な屁理窟がまたとあらうか？

「さア立てッ！　立たねば、拙者が腕づくでも引拘へてまゐるぞ」

「嫌でござんす！　そこをお離し下さいませ！　瘦せても枯ても堀江の一葉、體は賣つても身は賣りませぬ。唯今のやうな無法な眞似をしかけられて、お座敷の勤めは出來ませぬ。このまゝ屋形へお戾し下さいませ！」

悲憤に似てゐる聲を絞つて叫んだ。胸がすつと開けた思ひで、成行の變化を待つた。

鐵太郎は、腕を組んだまゝ、眼を閉ぢ、身じろきもしないで、耳を立てゝゐた。

女中は空の銚子を握つたまゝ、源十郎の怖ろしい權幕に呑まれたのか？　襖ぎわに呆然と立ち竦んでゐる。

清吉は、ぐつと瞳を据えて、源十郎を見上げながら

「御武家さん！　これは少し御無理が過ぎはしませんか？　御冗談が過ぎはしませぬか」

「な、何ぢや？」

仁王立になつた源十郎、怒つた眼を尖らして

「貴樣は一體、何者だッ？」

「御覽の通りな町火消、八番組下のか組の清吉と云ふケチな野郎でございますよ」

「ふむ！　蔣泼ひ人足か？」

憎々しげにあざ笑つた。

「いかにもお仰せの通りでごぜえやす」

「貴樣等のやうな蚰ケラの飛び出す幕でない。引ッ込んでゐろッ」

「默れッ！　默りやアがれッ！」

キネマと演藝

スズラン座曲目

歌舞伎座に開演中のレヴユウ團スズラン座は第一回鄕土訪問公演曲目として第一歌劇「三人片輪」一幕、第二喜劇「トーキー女優」一景、第三レヴユウ「忠臣藏」廿四景、第四新流行ボードビル十種でレヴユウ「忠臣藏」が呼び物で入場料は特等一圓五十錢一等一圓三十錢二等八十錢學生各等半額小人三十錢であると

セロ獨奏曲目

既報の如く大連出身の吳泰次郎氏のセロ獨奏會は八月五日午後七時半から彌生高女講堂で開催されるが、曲目は左の如くで伴奏者は令妹吳たね子孃である【寫眞は吳泰次郎氏】

一、セロ獨奏　吳泰次郎（エックレス作曲―ソナタ、ト短調）

二、セロ獨奏　吳泰次郎（サンサーン作曲―競奏曲、イ短調）

―休憩―

三、ピアノ獨奏　吳たね子（イ）吳泰次郎作曲―近代的小品、コケット（ロ）吳泰次郎作曲―斷片詩曲、滿洲の十一月

四、セロ獨奏　吳泰次郎（イ）ヘンデル作曲―ミヌエット（ロ）ゴルターマン作曲―アンダンテ・カンタビレ（ハ）ポッパー作曲―ハンガリアン狂想曲

故觀世滿廣氏の高弟でその衣鉢を繼承したとまで稱讚されてゐる觀世流能樂師津田善一郎氏が

大連棋院臨時稽古碁戰

三段　伊藤甲子女史
六子　大淵貞吉氏

●一二四（二の十の處）劫とる　○一四一ワ十八　○一四五ヲ十八　○一四九ソ十五　○一五三ワ十四　○一五七ヲ十三

●一四二ル十七　●一四六ヲ十四　●一五〇ソ十六　●一五四カ十四　●一五八ワ十六

○一四三ル十八　○一四七ル十三　○一五一レ十五　○一五五ワ十五　○一五九カ十二

●一四四ヲ十六　●一四八ツ十八　●一五二ツ十五　●一五六ワ十三　●一六〇タ十七

―【8】―

放送

大連　JQAK

七月廿八日

午後五時　日本大相撲連絡放送

午後七時三十分

▲ラヂオ體操

▲露語講座　第四十三課大連語學校グロースマン

▲レコード　イ、木管二重奏ヴイラネユ、ロ、吹奏樂、一、拔錨行進曲（合唱）、二、水兵同（同）三、ハワイアンケーパーズ、四、マリア（合唱）

▲萬歲　川田彥丸、海老一鐵丸、眞崎ツネ

▲映畫物語　古鄕・橘天桂

▲料理獻立

▲天氣豫報

東京　JOAK

廿八日午後六時廿五分

▲產業ニュース

▲八時漫談　素晴しかな人生、井口靜波、伴奏指揮、福田宗吉

▲新內　醉月情話（花井お梅）淨瑠璃、富士松富士太夫、同古賀太夫、三味線同佐交上調子、美彌太夫

▲管絃樂　一、アルジエクエリア組曲、サンサース作、二、幻想曲、カマリンスカヤ、グリンカ作、三、セイタン曲、大洪水前奏曲、サンサース作、四、歌劇タンホイザー行進曲、ワアグナー作、日本放送交響樂團指揮ニコライシフエルブラット

◇

寡中休暇を利用して近く來連する◇◇演奏會を催すべく計畫をすゝめてゐる▲あすからいよ／＼電氣下で勇ましく櫓太鼓が鳴り晴れ五日は土俵を圍んで金切聲の交響樂が奏でられる▲昨日の船で滿俱軍が都市大會へ出發したが、激勵の手紙をはきちがへたがる女性があるやうだが▲林大二郎や片岡千惠藏と間違つてはいけない。そんな女性は斷じて野球ファンでないのだ▲スズラン座の代表者柳生氏が興行道德を無視したと常盤座と大連劇場で憤慨してゐる▲ところで大相撲と「歸鄕」と「續大岡政談」とレヴユウが巴になつてその上に野球と海水浴。

人生を蝕む害虫

その根本的撲滅藥發見

安住大藥房では、先年一巻で二晩たしかに火持ちのする蚊とりの原料で精製した晝夜安住カトールを發賣して人氣を博し、同時に南京虫、蠅、蚤その他の害虫を一擧に撲滅する高級驅虫劑カトールを發表した

本品は昆虫學の泰斗として知られた東京帝大の理學博士佐々木忠次郞氏、農學博士橫山桐郞氏らの有効無類の折紙つきで、特に橫山博士はかういつてゐる。

本品は百パーセントの殺虫効力を示し、南京虫に對する試驗では他の藥品と比較研究した結果カトールの効果は斷然群を拔き、あの執拗な南京虫が忽ち悶死し又胥虫、毛虫、蟻、蠅、蚤、小甲虫類、蚜虫、介殼虫、甲殼虫たるワラジ虫や團子虫又蜘蛛類にも効果ある事を知つた

特に蠅に對して偉効ある事は勿論塵芥箱等に發生した蛆（蠅の子）にも極めて効果がある又便所に蠅がわいた時はカトールを窓の棧に撒いて置けば三十分もたゝぬうちに蠅は悉く死滅し、疊の下に撒けば蚤や南京虫が絕對に發生しないと

文藝

野球と相撲

=福柳のことなど=

西園久二

僕は最近野球を見るやうになつた——「君が見に來たりするので雨が降る」と非難されたりした。成程、僕が行くと極つて雨が降るから奇妙である。

そういふけれど僕は中學時代に自分でやつた事がある、入學した時に「新入生紅白野球試合」といふので三壘をつとめた事がある。

それ以來、僕は野球部に籍を置いてスコアをつけてゐた。

全國中等學校野球大會の豫選で慘敗し選手と一緒になつてをいをいと泣いた事もある。

白楊のスクスクと立ち並んでゐる校庭に、濃い宵闇の迫るまで選手達と一緒に放課後の時を過したものだ。

巡業で仙臺にやつて來てゐた大相撲のチームと試合をした時には死んだ「福柳」が紫縮緬の紋付きを羽織つて腕車を飛ばして來た、それ以來、僕は福柳の隱れたる後援者だつた。

——彼は美しい力士だつた。

然し僕は曾て相撲といふものを觀た事がない。

體力的な勝負といふものに、どういふものか興味が持てない、殊に相撲のやうに、やつてる本人達よりも觀てゐる人達の淺猿しい形相をみせられると、文句なく氣持が挫けて了ふ。

野球を見ても——近頃觀客のなかに「止めろ」とか「馬鹿野郎」とか騷いでゐるのを見ると僕は厭だ、それ程夢中になれる人は幸福だ——そんな氣持は微塵も起らない、唯、もう厭な氣持が何の餘裕もなく直接やつて來る。

昔から僕は、一體野球それ自身の勝負といふものに興味を持つより、勝負後の感傷的な空氣が好きだつた。

殊に敗軍のいとも悲愴なる姿はいゝ。

僕は好きだ。

この感傷的な空氣が最も濃厚なのは中等學校のチームである。

男泣きに泣いてゐる投手を交へながら愁然と退場して行く姿はいゝものだ。

空は炎暑、まづ一抹の凉氣を流す、といふものだ。

僕は今年から野球も見よう、相撲も見ようと思つてゐる。

だが、見ようと思つた時には僕の好きだつた「福柳」は居ない、野球だつて近頃は漸く人々の人氣から離れようとしてゐる……おくれ馳せなのは「親孝行」ばかりではないらしい。

行友李風作の『國定』について

—河部五郎を見る—

靜田晴雄

凡そ劇壇における黄金篇——忠臣藏とも稱すべきものは、先づ行友李風作の「國定忠次」を置いては外に一寸と見當らぬやうだ、どんなちつぽけな劇團でも、凡そ劇團と銘打つものは必ず此の劇を舞臺に掛ける、そして掛ければ大なり小なり相當受けてゐるのである。役者は大根でも、劇其のものの持つ魅力——つまり國定忠次其の人の大衆性と作者李風のねらひ所のよさとが觀客を充分愉快にしてしまふのである。劇其のものに此れだけの力が有る、其の上に俳優さへしつかりしてゐれば、完全に觀客を攫つてしまふことが容易である。私は此れまで色々の人の「國定」を見た。故澤田正二郎を始め、其の形をそのまゝ眞似てゐる淺草公園の吉田吉次郎、明石潮、高木新平、遠山滿、それに先日の河部五郎……が此の內俳優によつて幾分なりとも引立つてゐると思つた「國定」の舞臺は、御大澤正の外では河部一人であつた。

故澤正の「國定」は場所と時間によつて多少の出來不出來は有つたにしろ、東都一流の批評家をして、遂に一言をも云はしめず、さすが新國劇の首領、澤田として極め附けの名を付ける事を惜まぬ名舞臺であつた。……闕の國の住人小松五郎義兼が鍛へたわざもの、萬年瀧りの雪水に清めて……と白刄を月に翳しての獨白は、江戸ッ子を唸らさずにはゐなかつた。

澤正と河部を比べる事は——河部に對しては失禮かも知れぬが——一寸段が違つてゐる。一方はとにかく全國的に謳はれた新國劇である。今買出しとは云へ、巡業にある人手の足らぬ河部一座とは比べものにならぬ。その段違ひの河部一座が、何故遠山、高木等の一座より優れて見えるか?、そこには舞臺裝置、配光等の搦手から廻つた頭のよさと、苦心の跡を明りくと見せてゐる、特に山形屋の場等は今までにない舞臺の構へで花道を使ひ、見送りなれば、まつぴらだッ……と捨た獨白で見得を切り、其の場のきまりをつけて觀客を引つぱつて行く點等、其の聲明なやり口には感心させられた。

澤正の「國定」は劇と人が融け合つた舞臺、河部の「國定」は人が劇をよりよく利用した舞臺、と云つた感じが深い「私達は未熟者揃ひです。けれども名人がお茶を濁した舞臺よりも下手ながら命をかけた舞臺の方が皆樣のお氣に入ること、思ひます」……と河部は挨拶をしてゐたが私は河部の「國定」を見て痛切に彼等の熱と努力を買つてやりたくなつた。

ラヂオ露語講座

大連放送局七月廿八日午後七時

講師大連語學校グロースマン

СОРОК ТРЕТИЙ УРОК.

Раздается голос кондуктора: "Господа, приготовьте билеты".
Пассажиры вынимают билеты. Входит обер-кондуктор.
О—Ваши билеты, господа.
А—Пожалуйста.
О.—Вы едете в Москву. В Маньчжурии вам пересадка.
Б.—Пожалуйста.
О—Вы едете в Цицикар. Вам, вечером, около шести часов надо слезать.
А—Далеко ли вы едете.
Б.—Я еду в Маньчжурию. Там у меня транспортная контора. В Харбин я ездил за некоторыми товарами, а главное изучить местный рынок.

第四十三課

車掌の聲が響いてゐる：“皆さん切符を準備して下さい：”
旅客は切符を取出してゐる、車掌長が入つて來る。
O.—皆さん御面倒ですが切符を拜見致します、
A.—はい、
O.—貴方はモスコーえ行きます、マンチユリヤ驛で乘り替へです、
Б.—はい、
O.—貴方はチヽハルへ行きます、貴方は晚六時頃降りなければなりません。
A.—貴方は遠くへ行かれますか、
Б.—私はマンチユリヤ市に行きます、あそこに私の運送事務所があります、私はハルビンに或る品物の爲と大なる地方の市場研究に行きました。

キャフェ放浪

巴里晝夜旅日記より

在連　今井朝路

なんと云つても一杯のキャフェで心おきなくうれしい夢を描かれるのはやはりパリのキャフェです

そして家々によつてそれぞれの特色が鮮明です。

畫家にモデル新聞記者に俳優に音樂家、詩人に文藝家に大學生とあつまる所がきまつてゐます。

キャフェでかなりの家ならきつと文藝か劇にまた音樂か美術に由緣をもつてゐます。

× ×

キャフェでもつとも樂しい時間は踊り場の閉場た時間です。キャフェはパリッ子にとつては唯一の天國です。

また自ら哀しまるゝエトランゼエにあつてもキャフェに勝る慰安所はありません。倦怠も郷愁もおのづと消えてゆきます。

素裸の人の心が美しく正しく新らしき慾情の大交響樂を奏でゝゐます。

× ×

十九世紀末葉から文學美術音樂演劇とキャフェとは次第に關係が結ばれてきました、なかにも詩人は失はれた心をキャフェで回復しました。

生活の煩雜も倦怠もキャフェで忘却しました。

そして新らしいほゝえみはキャフェから生れました。

十七世紀の放浪詩人達のキャフェ禮讚にもまして十九世紀の詩人達が競ふてキャフェ放浪に若さをかぎりなく燃やしました。

× ×

自分の行きつけた二三のキャフェを紹介しておきませう。

藤村さんのエトランゼエでおなじみのキャフェ「リラ」はパリ・モンパルナスの畫家町の近くです。

此の家は老作家の多くが不斷に參集する所です。「ガズ」の蒼白い灯をあびた宵のテラスは又ひとしほです。

モンパルナス大通のキャフェ・ラ・ロートンドのターブルはいつも青年畫家達に占領されてゐます。

レエニンがありし日しばしば訪れては靜かに革命を畫策したゆかりのある家です。

向ひにキャフェ・ル・ドームがあります。

昨今ドームの人氣は素晴しいものです。

隣のキャフェ・クポールは近代的な感覺で客を呼んでゐます。

× ×

サンミツセルへと

タクシーをとばせます、此處に畫家と詩人と大學生の歡樂境……

ネオン・ランプにつゝまれたヌクタンビヰル（踊り場）の赤い花には痛い「トゲ」がありますから御用心……

セーヌ河畔に牢獄酒場があります。一名キャヴオと云ひます。

一杯のセリー酒で十四世紀十五世紀の昔に逆行させて呉れます。

× ×

こゝは薄命詩人アランポーの小說からぬけ出したモンマルトルのシヤノアール（黒猫）です。

かつては畫家ルドルフサリーの畫房だつたのです、氣まぐれものゝ連中が金曜日の夜を一緒に公開したのが今日をなしたのです。

即興詩人達が唄つた詩がパリの流行唄となつたのです。畫家、詩人音樂家、粹人達がキャフェに於てあつまる因をなした一つだとも云はれてゐます。

× ×

モンマルトルの裏手に

ラパン・アヂールがあります。

十九世紀のモンマルトル派の革命家の根城だつたのです、壁にぬたくられた落書のなかに見のがす事の出來ないなつかしいものがあります。

私の好きな作家の名も見出せます。

此處はモンパルナスの畫家街

步道に刻まれたやはらかい靴音

× ×

キャフェ・ノアールで口紅をけした

モドモアゼルの横顏

× ×

足がものいふ街の聖母の衣ずれ

戀を戀するパリの夜に置きわすれた

眞赤な心臟

× ×

あまい私語に倦んだ時キャフェの「ポルト」

に指をふれる事が何よりもなつかしい

× ×

あきやすい人間の觸感の求むるものは

灰色の偶像のあのやはらかい髮の毛でも

眞珠の齒でもふくらみをもつルビー

色の乳房でもない……早くメントール酒でもかがせて呉れ

＋ ×

オピユウムのさめないうちに新らしい

夢の連續をみせて呉れ

× ×

夜會服の胸に開いたカレンな花にマドモアゼルの心を植ゑませうか

みどりの靴の孃ですか

黒い瞳の孃ですか

いゝえそれあの孃です

× ×

此處はサンミツセルの大通

畫家と詩人と大學生……

トントわすれていました

お孃さんの事を……

× ×

葉卷はアメリカ

紙卷はフランス

ピープはアングレ

夏を描く

來島義禮

樂屋のこと

井戸から覗くやうに上へ折曲つて燈影の射す部屋、上り切つて上草履をトンと……

「先生、お暑つう」

フイとのぞいた部屋の中、下地を附けた白い座長の背越に、潰れた島田が姿見に映つた。

部屋の中は金光燦爛として解き放した繡珍の丸帶、一所に紐やら帶止めやら、赤い裾やら、紅の八つ口やら、なえしおれた花束のやうに脫ぎ棄てあるかと思へば又片方にはきちんと疊んだ背を大模樣に染めぬいた奴浴衣、さては駿網朱鞘、黒の鐺に銀鐺……中はぼつと燃え上るやうな暑さ……

紅をさして目張りを入れ、ポンと手をはたいて、それから衣裝、下腹をかかえて、博多をシュッと鳴らし、グイッ……とメて一寸息ぬき。

坐り直して初めて客の方へ、羽二重でメた顏を向けた座長、

ハイ今晩は……お寒う

島田が二ツと微笑む。成程座長の衣裝は厚みの縫入れ、其の上横に置いた三徳傘には縫で散らした雪模樣……

「冗談のけて內地よりは大分氣候が過ごしやすいやうで……彼方は蒸されるのか焼かれるのか、本當にお客のあるのが不思議な位……

チョーン……チョーンと柝が入る……

「先生、舞臺は格別お暑うおすやろな……」

島田が一寸と首をかたむける

「ヘイ、暑氣が皆舞臺に集まりますので……」

「ほんとに!」

と大げさに感心したその島田、のけ樣の頤ふつくらと、二か目に紅を散らした、口許の可愛らしい、色の白い女であつた。

と、チョンチョーンと二丁が入つた。

「オイ、あたま……」

と呼ぶ座長の聲、答もなくスツと顏を出した床山が、

「先生、支那人の道具方が……」

と壓へつけるやうに云ふと、ぴよいと頭を立て直し

「何時……」

「舞臺裏で死んじやいました」

「たつた今でさあ、心臟痲痺で…二十年も勤めて居た男ですとさ」

チョン〳〵〳〵と柝が入つた。

悚然として、向直ると、突當りの窓から中庭の樹の枝がみだれた黒髮のやうに振へて居るのが闇の中ながらはつきり見える、ブルブルッ……と座長は、眞實に寒相に繡入れの衣裝をふるはした。

滿洲生活

坂本幸子

フラスコの裡に生かされてゐたこゝちに醒めてくるのです

酸素が稀少ないですネ

◇

これはアラビアンナイト——のひらかれたる頁!ではないでせうか

蒼く!

その上を靜謐な眞夏の碧空が

緣どり飾つてゐる

葬送の透く黄金の花冠もて

◇

社宅街のひつそりと鎭ひ過ぎた

音の絶えた、生活に何處か煮つめられ

裝はれた纖細!の匂ひ!

がしては來ませんこと!

——洗濯——

手を息すめられない!

濃かに盛上る石鹼の泡沫の上に

內線を透した!

黄金の

火の!幻想の珠玉

がいま破碎け散亂るのです

紡むぐ

泡沫です

でもそれでは不可ない!と仰つしやるのつく溜氣

散亂る泡沫!

を紡なぎとほして

瞬時の!

あせてゆく花冠!を編んでゆく

——わたしなのです

滿洲日報

天下を風靡してゐる此強健術に病弱者は勿論健康者も必ず來れ！

東京市技師 西勝造著

西式強健術と觸手療法

定價壹圓 送料六錢 口繪著者寫眞挿入

仙石總裁曰く

俺の知つてゐる西こいふ人が研究したところによるこ、世界中に斯ふ云ふ方法が三百六十二ある。その粋を抜いたのが西の方法だこ云つてゐる。この頃著述をしたさうだが、さう云ふここを精神修養に用ゐたら一生懸つてやらなければならないものでも直ぐ出來る。病氣に罹つてゐるものでも直ぐ癒る。

醫療界に大革命來る 百卅版

名士十八氏の實驗談掲載す

卅有餘年間、東西古今の强健術三百六十餘種を實行せる著者が、今進化論上に基礎せる科學的强健術を創始發表す。朝夕僅に十分間これを實行すれば無病息災、三年續行せば蚤も蚊も喰はぬ不死身となる。而して本書に依り四十分間の合掌行を實行すれば、何人も觸手忽ち難病痼疾を治す神秘の靈能を體得し得

東京銀座西一丁目 振替東京参貳六番 實業之日本社

皆様のお履物は

山内履物店

浪速町三丁目（電五七八一番）
浪速町商品館（電六三一八番）
沙河口聯合市場（電三八六八番）

大不景氣打開の唯一の道、合理化！
合理化なくして現代に生きる方法なし
社會經濟の全面的現實的指導書を見よ

産業合理化全集

▼現代の合言葉、合理化！
全世界は合理化に絶對の信頼を措く。大恐慌大不況をいかに切抜くべきか。眞に合理化の本質を把捉せよ！　かくて暗黑の不景氣は斷然光明に展開せん！

豫約全廿巻

編輯 慶大 向井鹿松
神戸商大 平井泰太郎

1 産業合理化總論　慶大 向井鹿松著
2 産業合理化の原理　名古屋高商 赤松要・宮田喜代藏著
3 企業經營の合理化　東京商大助教授 增地庸次郎著
4 生産組織の合理化　大阪商大教授 村本福松著
5 勞働力の合理化　倉敷勞働科學研究所長醫學博士 暉峻義等著
6 作業と合理化　廣島文理科大學教授 古賀行義著
7 製品及用具の合理化　廣島高校教授 增田幸一著
8 商業經營の合理化　東京帝大名譽教授工學博士 斯波忠三郎著
9 市場の合理化　神戸商大助教授 平井泰太郎著
10 金融・景氣の合理化　神戸商大教授 福田敬太郎著
11 金融市場の合理化　名古屋高商教授 高島佐一郎著
12 交通の合理化　東京帝大助教授 橋爪明男著
13 農業經營の合理化　慶應大學教授 增井幸雄著
14 公經濟の合理化　京大教授農學博士 橋本傳左衛門著
15 世界經濟の合理化　東京商大教授 上田貞次郎・(關税)法學博士 關一・(公營)大阪市長 武藤山治・(官營)大學博士 國民同志會長 小島精一著
16 勞資關係の合理化　勞働總同盟理事 松岡駒吉著
17 産業會計の合理化　慶應大學教授 三邊金藏著
18 利益處分の合理化　ダイヤモンド社長 石山賢吉著
19 産業の合理化批判　山川均著
20 産業合理化圖録　付 産業合理化文獻　神戸商業大學經營學研究室

高橋龜吉著

日本資本主義の合理化

◆第一回配本中

第二回・世界經濟の合理化　小島精一

——（申込は全國書店へ）——

◆ハガキ申越次第◆
内容見本進呈

申込金ナシ
各冊壹圓八拾錢

規約
◇菊判總布表紙銀飾カバー付
◇五號一段組各冊四百餘頁
◇申込金なし
◇毎月拂金一圓八十錢　各冊送料 市内六錢、地方十六錢、鮮滿十六錢
◇一時拂（全廿巻別冊を含む）金三十六圓に割引す、送料市内一圓二十錢、地方三圓二十二錢

東京・日本橋・通三
春陽堂
振替東京一六一七

怪談名作揃ひ

文藝倶樂部夏季増刊

夏の讀物はこれ！
一讀慄然の傑作揃ひ!!

▼墓を發いて死屍を喰ふ女

白狼記　額田六福

……それは恐らく彼が一度だつて想像しなかつた光景であらう。彼は寢間着姿の妻が娘の死骸の傍に四ツ匍ひになつて、肉を裂きながら狼の様にむさぼり喰べてゐるのを見た。……（本文の一節）

此他まだ面白い讀物滿載！

◎くろん坊（半獸悲戀）　岡本綺堂
◎怪異の闇（凄慘流血）　長谷川伸
◎首締め扱帶（悲戀怪奇）　大倉桃郎
◎血色い痣（美女怨念）　潮山長三
◎五月雨双紙（人質奇聞）　米田華紅
◎黄の手燈（妖靈復讐）　田中桃葉
◎蜘蛛の蚊帳（祇園夜話）　長田幹彥
◎狐の紋（妖影綺談）　田中貢太郎
◎渦蛇（不老秘藥）　伊藤松雄

■（姐妃お百）お化伊勢屋……蛟龍齋貞吉
■（名人奇縁）應擧の幽靈……白河雷藏
■（一讀慄然）吐月峰の音……蓁々齋梧樓
■（報恩異聞）足洗屋敷……柳巷亭春水

エロ怪談 一千二夜から譚
（第二夜）男、女と化するの話
（第三夜）スポーツ好きのタイピスト
（第四夜）東洋の美しい街の話
（第五夜）エロチックなダンサアの話
（第六夜）寶寢する孔雀の話
（第七夜）赤坊になつた花嫁の話

▲江戸末の怪談好み（三田村鳶魚）
▲怪異墓碑考（矢田挿雲）
▲怪談・芝居噺（河竹繁俊）

怪談諸國物語
○生首のすげかへ
○亡き妻の幽靈は語る
○變化に取られた女房
○生靈のある木像
○化かされ狸の一人情死
○女房に化けた狐
○不思議な名醫の懺悔

◆定價七十錢（送料三錢）
書店賣切の節は直接本社へ御註文下さい

◎東京市小石川 振替東京二四〇番
博文館

割然と　あらゆる金ペンの書き味を分類したる……

標準六種

パイロット高級萬年筆

定價四圓以上

向學生 ¥2.00以上

株式會社 並木製作所
支店 倫敦・紐育・上海・新嘉坡

新天地社版　十六專門家擔當執筆

滿蒙事情十六講

菊版製頓 極上コツトン紙三二四頁 輕快紙質
正價一圓五十錢 送料八

滿蒙の政經文化は正調を辿るか、逆流に棹さすか。今や滿蒙問題は尖端的皮相觀を排し正道より直視する眞摯なる態度を要求してゐる。本書は滿蒙の內政・外交經濟・文化苟も日本人として須知の問題を凡て網羅し、而も斯界に造詣深き現地の新進專門家が日頃拘懷せる意見、日常經驗せる事實を率直大膽に大衆の前に吐露した點に於て斷然群書を抜く。滿蒙正解に資すべき唯一無二の好著

發行所
大連市浪速町 振替大連五五番
(本店) 東京 (支店) 京城、奉天、旅順
大阪屋號書店
全滿各地書店

大理石の御用は
内田石材店大理石部へ
南滿大理石工場
工場電九九三〇・自宅電七七四〇番

成長發育を促進し、疾病に對する抵抗力を增進する新榮養素……ヴイタミンA……を攝るには、牛乳可なり、鶏卵可なり、肝油亦可なり、而して三共ヴイタミンA最も可なり蓋、三共ヴイタミンAは之を前記食品中のヴイタミンAに比すれば、牛乳に六九四二倍し、鶏卵に三六二倍し、肝油に二五倍する力價（動物試驗による）を有し、少量にて足り、且つ服用し易きを以てなり

説明書進呈

一瓶 50個入 100個入 1000個入

東京室町 三共株式會社 大阪、臺北、紐育

醫家諸賢の御推奨を希ふ

オキシフル

(1) 不時の負傷に對する應急手當藥として……
(2) 口腔咽喉性傳染病流行時の豫防藥として……
(3) 齒牙の保健を目的として……

家庭に常備すべきことを

類似品を强賣する向あり御購求に際しては、必ず、オキシフルと指定 又、三共株式會社名儀に御留意を願ひます　（實驗報告集進呈）

三共の藥品

東京室町 三共株式會社
大連市山縣通一九二 株式會社三共藥品販賣所

社説

南北關外の共存共榮を圖れ

あくまで武力解決を主張してゐる蔣介石の南軍は隴海線に不利、濟南の奪回も捗々しからず、最近傳へられるところによると徐州を退却して蚌埠に司令部を移すとさへいはれる。これでは武力解決どころでなく、南京政府の把握さへ覺束なくなつて來た。この間にあり、汪精衞は恰も凱旋將軍のやうな恰好で北平に乘り込む。支那の内亂に相應はしいコントラストといはねばならぬ。」

◇

北平に乘り込んだ汪は、必ずしも南京政府を否認して居らぬ。この邊、將來への用意の存するところともいへるが、汪は必ずしも南方に對してのみでなく、奉天側に對しては甚深の注意を拂つてゐるものゝやうである。すなはち彼はいはんと欲するところをいはず、遠還會釋、腫物に觸るやうな態度であるともいはれ得る。而して彼は、政務は閻氏に、軍務は馮氏に自分は黨務を鞅掌すると稱して居り、世人の最も疑問視してゐるところの三派（西山派、改組派、實力派）聯立の可能に努力しつゝあるものゝやうである。汪氏に果して、この時局收拾に對する忍耐力があるであらうか、世故に圓熟した彼としては、あるひは無謀なる理論一轍にのみ猪突せぬであらうが、この當局收拾に不得意なるところがまた汪氏の長所でもあるのである。とにかく汪は、非常なる隱忍自重を以て北上した。この自己抑制が相當のところまで持續さるゝにおいては、三派の聯立必ずしも不可能なりとはいへぬ。孫文でさへ袁や段や張やと手を握つて革命達成の現實に努力したのであつた。東奔西走の汪氏に、この間の消息が領會されぬ筈はないと思はれる。

◇

南北の分立對峙、これ必らずしも革命理論の闘爭の結果であるとはいへぬ。多くの場合、私利私慾情實感情の疎隔から來るものの如く、蔣介石の獨斷專行といふたところで、五千年の歴史が生んだ支那民衆の一人であれば、汪も蔣も閻も馮も五十步百步といふべく、在朝黨在野黨の對峙といふに過ぎぬが、單一政黨の支那の現實では實權派は即ち官軍、然らざるものは賊軍といふことになり、そこに反對派を遇する寛容の態度を示し得ぬから武力解決より外に方法なく、武力解決は支那の歴史上、地理上、絶對不可能とあつて南北對時が當然の成行といふことになつたのである。たゞ南方も北方も互ひに抗爭するが奉天側に對しては互ひに秋波を送りつゝあるといふところ、主義思想としては徹底を缺き現實の支那の抗爭としては全く已むを得ぬ現象といはねばならぬ。理論一轍の汪氏なども、この邊の事情は百も承知のことゝ思ふが、要するに支那國民革命の理論と實際とは容易に一致すべからざるものなることを基本として支那の事象を論斷せねばならぬ。

◇

こゝにおいて吾人は特に汪氏らの革命理論家に向つて、支那の現實を凝視し以て大地に立脚して堅實に闊步せんことを支那國民革命のために希望するものである。遠方に燈火を認め、それに向つて暗夜疾走するとほど危險なことはない。而して吾人はこの際、汪氏が西山派とも實力派とも和衷協戮し北方政府の樹立に努むると共に、その和衷協戮の精神を擴大し、奉天側との提携は勿論、南方側とも否、蔣介石とも手を握つて支那の治安保持に努力精進すべきではあるまいか。今日、支那民衆の一般の希望してゐるところのものは、必ずしも國民革命の空名にあらずして、むしろ國民生活の安定に存することは明白である。支那革命の指導者らは、まづ國民生活に安定を與へ、而して後に革命精神の達成に邁進すべきである。孫文のいはゆる軍政時代より訓政時代への指導精神は、實にこの間の消息を構成したる理論といふことも出來る。時代の認識は人によつて異るが、今日の支那は、いまだ軍政時代にありと吾人は斷ぜざるを得ぬのである。されば汪、閻、馮、を一團とする北方政府、蔣らの南京政府、張學良を棟梁とする奉天政府、これらが互ひに共存共榮の大精神に立脚し、聯邦式か國家式か、とにかく南北統一、全國統制への過渡前提として、國民革命への次善主義を以て進むも全般の時局を收拾する捷徑ではあるまいか。汪精衞その他の支那識者の反省を促さんとするものである。

明年度の歳入見積 過大に陥るを警戒

減收一億三千萬圓に上る見込 大藏省下調査に着手

【東京廿七日發電通】明年度豫算編成方針決定と共に大藏省ではボツボツ歳入見積りの下調査に着手して居るが、歳入見積りは極力過大に陥るを避けて居る、即ち

一、昨年度歳入實績は最後の二、三月に至り豫想以上に惡化し遂に豫算より減收となれる事

一、本年度豫算は六千萬圓といふ巨額の歳入缺陷を生ずる事態かとなつた事

一、この本年度歳入見積過大に鑑み明年度歳入豫算は充分愼重に見積つて過誤を重ねぬやうにする必要ある事

等の諸事情に鑑み大藏省では左の如き見積り方針を樹つるに至つた

一、所得税、營業收益税を通じ法人課税は最近數年常に赤字を出し個人課税の增收を以て豫算額を割る程に惡化したので今回は法人課税は財界の狀態を考慮し極力內輪に見積る事

二、個人所得税營業收益税は明年は本年の一割程度の減收を見る事

三、租税收入見積方法は前年の實績と財界の狀況を考慮に加ふ

四、例年は前年九月より當年九月迄の實績に照したが今回は金解禁影響が實際に現はれた昨年十月以後本年九月迄の實績を取る

以上の方針によれば明年度租税收入は恐らく一億千萬圓以上本年度豫算より減收となるべく更に印紙收入官業官有財產收入等の不況を見來れば歳入の自然減は當局の方針と相待ち一億三千萬圓以上に上るものと觀られて居る

四年度歳入出成績 一千萬圓近くの減收か

【東京二十七日發電通】昭和四年度歳入歳出は去る六月末締切られ目下大藏省で整理中であるがその結果租税收入は一千萬圓近くの減收となる事が判明した、即ち最初は不景氣に拘らず尚幾分增收が豫想されてゐたが最後の二、三ケ月に至り法人所得税法人營業收益税及び砂糖織物消費税等が著しく減退し遂に豫算の九億九百四十萬圓に對し實績は九億圓を切るだらうと當局は見込んで居る税補別に主なもの〻增減を見れば左の如し（單位萬圓）

稅目	萬圓
▲減收	
所得税	二五
營業收益税	二〇
取引所	二六
織物消費税	三五
關税	一四五
▲增收	
相續税	五〇
兌換券發行税	七
酒税	七〇
砂糖消費税	一四

以上の外印紙收入は七百萬圓、森林收入は一千萬圓近くの減收を豫想されて居るので專賣益金郵便電信電話收入その他の增收により補ふも歳出不要額の如何によつては新規剩餘金は全然生じない處か或は赤字が出るのではないかと危ぶまれて居る

撫順製油の納入額 一ケ年に約四萬噸

海軍省との契約了る

【東京特電二十七日發】撫順のオイルセール工場における製油の海軍納入契約については既報の如く上京中の牧野滿鐵囑託と海軍省との間に折衝中であつたが既にその條件も纏まり廿六日中その書類の作成も終つたので廿八日その正式調印を了するはずである、而して實際の製油納入は既にその第一回分の輸送を了つたが本年度の納入は約四萬噸の豫定で今後一航海毎に約二千二百噸宛即ち一ケ月二航海で約四千四百噸宛を順次運搬納入することになつてゐる、更に本年度以降においては年額五萬噸宛納入する豫定であるが、これは第一期計畫の全能力を發揮した場合の製產額によるものであるから將來第二期計畫實現するにおいては更に納入額も倍加する譯である

廢物の工業化として重要意義がある

水谷滿鐵技術顧問談

【東京特電二十七日發】撫順のオイルセールは別項の如く愈々工業價値を生じてその製品の海軍納入を實現するに至つたが、右についてこの事業の工業化に努力した滿鐵技術顧問水谷中將は左の如く語つた

オイルセールの實際工業化は大正十一年からの問題だつたが一昨年即ち昭和三年四月起業を決定し工事に着手し昨年十二月それを竣工、引續き試運轉を行つた結果成績極めて良好で

計畫通り 順調に進捗し愈々近くこれを完成しその製品を海軍に納入することになつたのは誠に喜ばしい次第である、元來この事業は撫順において石炭の露天掘を行ふに際し自然出て來たセールが從來不用物として遺棄されてゐたのを巧く利用して製油を企てたもので全くの廢物利用によるものである、殊にその遺棄されつゝあつたセールは相當の油分を含有してゐるのでこれを放置する場合往々引火して火災を惹起す虞れもあり、保安上からも甚だ厄介ものであるから、これを何とか利用して一面その災ひを免かれんがためにこれを有益化するため色々試驗研究の結果所謂

撫順式の 乾餾爐でこれを處理すれば相當經濟的にも引合ふことが明瞭となつたので、遂にこれを工業化した譯だ、しかしこれを單に事業として見る時はなかなか困難なものである、それといふのは現に外國などでやつてゐるのはその含油量相當多いけれど撫順のセールは僅に廿七パーセントで而も實際の採油は五パーセントに過ぎない、從つて事業的見地からすれば決して有利なものではないが、廢物を利用して立派な副產品を得る所にこの事業の價値がある、換言すればこの種の工業は日本においては勿論東洋全體においても全く初めての試みで、それが今日經濟的にも採算上引合ふまでに至つたことは單り我國のためのみならず滿蒙は勿論支那各地のためにも將來非常な利益を齎らす

劃時代的 の仕事であると思ふ、而してこれは一つの實例だが此種の廢物利用は研究すれば未だ他に幾らでもある、例へば役に立たないものとして斯く廢棄され勝ちの粗惡炭を利用してこれを有用化せしむることなど將來も大に研究しなければならぬことで、滿鐵が現に多大の犧牲を拂つて努力してゐる石炭の低溫乾餾とか或は石炭の液化とかいふ如き事業は今後益々その工業化に努力しなければなるまい、滿蒙は勿論支那各地は炭量極めて豐富であるから此等の事業をしてその工業價値を高からしめ大に近代的の有効な燃料を得るやうにするのはそのこと自體が滿蒙乃至支那各地の富源開發を招來する所以にもなるであらうと信ずる

汪精衞氏の北上とその影響

反蔣各派の乘合船は果して何處に落つく

「汪兆銘來る！」といふので北平は各戸に旗を立てゝお祭騷ぎのていである、記者は彼が入平した翌日廿四日鐵獅子胡同孫文先生行館に彼を訪ねる、應接間にしばらく待たせられる間にさまざまの回想が湧く、この孫文行館こそ民國十三年十一月老段に助言して支那統一を促進させやうとして北上した時の孫文氏の假住居であつた、そして遂に死病を得て逝いた所で、汪兆銘氏等の門下にとつては忘れられない場所である、而も六年經つた今、再び北方封建的勢力に擁せられて汪兆銘氏が北上し、師の逝ける住處に落ちつくとは先師に倣つたしぐさであり又因縁の深いものである。四十七歳の汪兆銘氏を瞥見して驚いた事は「若さ」である少くとも卅三四歳と見ねばならぬ程の青年である、そして肌ざはりのよい溫容、一寸活動俳優にもと思へる靜かな應待であつた、彼との問答を要約して見れば

問 正式擴大會議は何時頃開かれるや

答 未だ決定してゐない、これは今明日中開かれる談話會で決定すると思ふが、大體の豫想では八月上旬であらう、又法定數の問題だが、別に過半數と規定したわけでなく、三分の一でもよければ今でも法定數には達してゐる、いづれこれらは次ぎの談話會で決定する

問 所謂「以黨治軍」といつたことで政治的統一の確定ありや

答 仲々困難と思ふ、しかし余が北上した以上は多少とも自信があつたからである、この點では各派とも讓り合つて聯合してやりたいと思ふ、これなくては中國は永遠に救はれない、尚吾等は蔣介石の如き獨裁的にゆくものでなくして合議して妥當な道をゆき度いと思ふ

問 北方實力派との今度の提携は國民黨の主義と矛盾する所なきか

答 妥協といつたことでは問題もあらう、但し現在の中國には二つの道しか殘されてゐない、一つは蔣介石のやつてゐる專制獨裁政治と、もう一つはこれが失敗であるといふ證據立てられた今日はもう一つの道を選ぶより外は無い、それにはこれを倒す爲の手段から入らねばならぬ、その上に吾等の理想がある

問 汪氏は天津の車中及び各方面の新聞記者と會見して、外に向つて、殊に日本に對しては孫文北上の際神戶でなした講演の如く日本との親善と諒解を必要とするといふが、國民黨のプリンシプルなる帝國主義國打倒と矛盾せぬか

答 吾等は對外方針としては第一次全國代表大會における對外宣言に根據を持つ、その後容共政策以來この色彩は急進になつたしかし現在の吾等は再び元へ還らねばならぬ、帝國主義國云々も日本のみを目ざすものでなくこれらは二元的に見てゆかねばならぬので單なる言葉の上だけではならぬ

問 [illegible]府の主席として閻氏を推し貴下は表面の政治的舞臺に出ないといふが事實か

答 私個人としてはさうしたい、私等は民衆の政治的教化といつた方面と、黨問題に終始すれば足るわけである

◇

話はぬけ目のない鮮かさであつた。

汪兆銘氏のかく迄急速に北上したことは北方將領さへも驚異的なことだといつてゐる、馮玉祥氏さへも「かく迄速かに彼の北上が出來るとは豫想しなかつた」と、これには北平の陳公博氏と香港にある顧孟余氏との細謀立てだといはれてゐる、出しぶる汪氏を促したのは顧孟余氏であつた、と見る向きが多い、この邊も新人連のすばやい活躍の力だ。閻錫山氏は趙丕廉氏に對して「汪の來かたが早過ぎた」と文句をいつたさうな、汪氏一派の乘込みは形の上だけは確に「以黨治軍」の第一歩として機先を制した閻氏としては改組派を上手に釣つて自派を有利に導かうとしたのだつたが豫想外れで汪氏の北上となつたわけだ。

汪兆銘氏の北上と馮玉祥氏の關係は閻氏の恐れたところである、西山派の連中が山西派と渡りをつけたのに對して、王法勤氏あたりは馮氏とかなりの連絡を持つてゐることは知られ過ぎてゐる、かくして汪兆銘氏の北上は閻錫山を中心とする山西派及び西山派の一味に暗雲を與へ、馮派及び改組派に光明を點じたのは事實である、さて今後これらの乘合舟はいづこに辿りつくか、北方政府をはさんでの興味はこれからである【北平特信】

反蔣政府の首都は 南京か將た北京か

目下の處二說に岐る

【北平廿七日發電通】北方の政府組織に伴ふ國都の決定は各派の實勢力にデリケートな關係を及ぼすので未だ正式に商議にのぼつて居ぬが左の二說に別れて居る

南京說 汪精衞氏の左派、廣東系將領は孫文氏の遺志を重んじ現南京政府を驅逐し同地に純正國民黨政府組織を主張して居る

北京說 西山派は國都の形式を備へた北京を首府とすべしと主張して居る、なほ閻、馮兩氏は軍事關係より北京を推し張學良氏もこれを支持して居る

純正國民黨政府 最初の存在

汪精衞氏抱負を語る

【北平二十六日發電通】汪兆銘氏は二十六日午後再び外交處長朱鶴翔氏の來邸を求め北方政府組織に對する外交團側の意向を確め今後の對外策協議の後記者との單獨會見において左のごとく語つた

一、武漢政府と北方政府とは思想上及び政治施設において重大なる相違あり來るべき北方政府は共產黨と分離し腐蝕政策の錯誤を清算せる純正國民黨政府の最初の存在である

一、政府委員は五名、七名、九名の三案あるも余の考へでは九名の委員に落着くであらう

一、正式會議が八月中旬に開かるゝ事は事實である

正式擴大會議 けふ開く

【北平廿七日發電通】廿八日懷仁堂で開かれる擴大會議大和會は汪精衞氏着平後最初の正式會合で委員數も既に法定數に達し左右兩派の重要顏觸れも出揃つたので正式會議開會日取決定と之れに伴ふ對內外宣言及び中央黨部組織條例等重要案件を商議する事になつて居る

政府組織協議

【北平廿七日發電通】昨夜汪兆銘氏宅における非公式談話會にて政府組織に關する第一次的意見を交換し先づ政府組織の原則的決定を見た今後の內閣組織問題を協議をなし正式會議開催の上は一瀉千里政府樹立を決定せんとする筈である

長沙の不安

共產軍襲來で

【長沙廿六日發電通】湖南省平江方面に蟠踞してゐた共產軍は合隊して八千の大軍となり長沙に向け進擊中なる事判明したが同地には守備隊手薄で防禦の方法なく市中は今朝から不安に脅えて糟谷領事は軍艦二見艦長と在留民保護につき協議中である

殖えた勞働爭議

本年上半期は七百件

【東京特電二十七日發】本年度上半期における勞働爭議について內務省社會局にて調査したところによると本年は特に鐘紡、東京モスリンの如き大工場の爭議が起り總件數七百三十件參加人員總約七萬六千七百餘人で昨年の六萬一千二百人に對し一萬千五百人の增加を示し近來の殺人的不景氣にその爭議振りも漸次深刻味を加へ必死的のものが多くなつたが何れも爭議の結果は統制のとれてゐるに反し常に勞働者側の慘敗に歸して居るのは注目に値する

歐洲聯盟案と各國の回答要領

回答は大部分出揃ふ

【東京廿七日發電通】佛外相ブリアン氏の提案せる歐洲聯盟に關する覺書に對する歐洲各國の回答はスイスを首め二、三小國を除く外全部出揃つたが回答の重要點は左のごとくである

一、各國共歐洲現時の經濟窮乏に際し歐洲各國が總聯盟關係を自覺し結束を圖るべきを認めこの點フランスの覺書に贊成して居る

二、歐洲聯盟の性質については各國共覺書のごとく各國主權の絶對性を立前として居る

三、歐洲聯盟の範圍についてはロシア、トルコをも參加せしむべしと主張するものあり又歐洲諸國全部を包含すべしとなして居る

四、聯盟と國際聯盟との關係は各國共一致して新組織が國際聯盟の權限を犯さぬ樣これを國際聯盟の中に置く事を主張して居る殊に英國は聯盟と國際聯盟間に權限の混亂を生ずる恐れある點に關し覺書に反對し又スエーデンは國際聯盟における歐洲外の諸國の協力が歐洲問題の解決につき貢獻する處勘からざるを特記して居る

回答吟味中

佛より通告せん

【パリ二十六日發電通】フランス政府は歐洲聯邦案覺書に對する各國の回答を受領し目下吟味中なる旨を述べた文書を各國に送達する筈である

鐵嶺旅團司令部 長春移駐か

第二大隊は引揚內定

【鐵嶺特電二十七日發】步兵第三十八聯隊の長春モダーン兵舍完成と共に鐵嶺駐剳部隊第二大隊も來る九月二十日長春に移駐するに內定したるらしく既にその準備の爲めか例年鐵嶺に召集してゐた勤務演習召集兵の教育も今年は鐵嶺で行はれぬ事となつた、大隊引揚と同時に旅團司令部も引揚となるらしく從來軍隊街で通つてゐた鐵嶺は急に淋しくなる事であらう、然し駐剳部隊の代りには守備隊が增設され第五大隊本部も四平街から移轉して來るやうでありそれに遼陽駐剳の工兵隊も遼河が演習に好適地だとあつて移駐して來るとの說もあり兵員においては從來と變らぬ程度であらうと

汎太平洋佛教聯盟

組織を決議す

【ホノルル廿六日發電通】汎太平洋佛教青年大會は本日閉會したが本日の總會で汎太平洋佛教青年聯盟を組織する事を決議した

時局批判演說會

卅日青年會館で

東京專修大學辯論部主催の東京各大學合同時局批判演說會は來る三十日午後七時より市內數島町基督教青年會館にて開催すべく參加校及び講演者、演題左の如し

一、內地時局の急迫に直面して 明治大學 瀧川 善助

二、聖戰の陣頭に立ちて 國學院大學 水野 久直

三、學校ストライキの根本精神 日本大學 田中 一夫

四、勞働運動に就いて 拓殖大學 近藤 元由

五、日本主義に立却して 國學院大學 松山 俊康

六、親愛なる大連市民に訴ふ 專修大學 大倉 喜重

七、經濟學徒より觀たる社會觀 專修大學 水村 喜一

八、危急に瀕せる國際現狀を觀て日支兩國民に檄す 專修大學 田中 鈞一

九、明日の日本を想ふ 校友 高須 勗三

吉林商埠地規程修正

反對運動に鑑み

【吉林特電二十七日發】去る七月一日附を以て吉林市政籌備處が公布した修訂商埠章程は商埠地における民有地買收規定及び租建權に關するもので農工商學の四法團が張作相に反對請願する外全省城學生聯合會の示威運動をも惹起するに至り已むなく張作相主席も政府委員會を召集して再度修訂の意嚮であるらしい

列車食堂の豫約券

西伯利線で發賣

【ハルビン特電二十七日發】ソウエート國營インツーリスト局から東鐵管理局へ左の如き案內狀を發して來た

シベリー線經由歐亞直通旅客のため車中食堂の豫約券を販賣する、この券は滿洲里からネグロ―七日間三二弗四〇仙、浦鹽ネグロ十日間四六弗三〇仙（いづれも米弗）で東鐵にては商業部代理店として取扱ふ

といふのであるが、食事は一日三食で如何なる人でも十二分に滿足が出來るのみならず食堂の座席も一定し非常に便利だと附言してゐる、歐亞直通の旅客がシベリー、モスクワ間の食堂に不味いものを食はすとの惡宣傳を幾分これによつて取りかへし長途の旅客に對し出來るだけの車中サービスをしやうとするのがソウエート觀光局の努力である

奉天附近稻作

【奉天特信】奉天附近の稻作狀況は左の通り

水播部分（吳家荒、板橋子、大石橋一帶）は播種當時旱魃に灌水遲れ漸く六月中旬頃播種したので例年に比し成育遲々としてゐるが早成種蒔いたのと本年は閏年である關係上降霜が遲くならうと豫想してゐるので當れば平年作の三割減、早霜あれば半作と豫想されてゐる又乾田播部分（公太堡を中心とせる一帶及北陵附近）は播種、發芽成育共に順調で只いさゝか灌水の時期が遲れた感があるがそのための被害はなく平年作と豫想され北陵附近、塔灣及び英守臺一帶は先日の豪雨も被害なく平年作の二割增收が豫想されてゐる

磯村氏首相訪問

【鎌倉二十七日發電通】實業家磯村豐太郎氏は二十七日午後二時首相をその別莊に訪ひ財界不況につき懇談した

二上樞府翰長避暑

【東京二十六日發電通】二上樞府書記官長は二十六日午後五時輕井澤に避暑したが月曜日に歸京の筈

慈大見學團來連

東京慈惠會醫科大學校教官三毛邊步兵少佐は學生十一名を伴ひ二十七日のばいかる丸で來連直ちに埠頭ビル、滿鐵醫院等を見學した

山崎涉外課長離京

【東京特電二十七日發】豫て外務省當局と事務打合せのため上京中であつた滿鐵涉外課長山崎元幹氏は用務一段落を告げ仙石總裁も歸任するので廿六日夜東京出發廿七日朝神戶出帆歸任の途に就いた

人事

▲河相達夫氏（關東廳外事課長）鞍山に出張中の處二十七日二十時三十分着列車にて歸旅

有名な南米アルゼンチンの畫家ペニト・クインクエラ・マルチン氏は美人の理想的タイプを求めて世界行脚を志し既に南米を振出にフランス、イタリー、スペインを訪問し最近に英京ロンドンに着いた▲マルチン氏はその目的につき語る「私は畫家としての見地から理想的美人の型について斯ういふ結論に達した、曰く理想的の美人は單なる一國だけからこれを求めるワケに行かない、數ケ國からその特質を求めてこれを綜合すべきであると、即ち英國婦人の端麗、アイルランド婦人のにこやかなまなざし、スペイン婦人の粹、イタリー婦人の黑い光澤のある毛髮等々でもしそれらが一括して一人の婦人に求め得れば大したものだがそれは所詮不可能であると思ふ、ロンドン市が世界の何の都市とも異る特色を有すると同樣英國婦人にも嶄然たる特色がある。殊にロンドン婦人は家庭內にあつてその美が發揮されパリの婦人は街頭に於て甚しく魅力がある」マルチン氏はこの世界行脚によりカンヴアスの上に「不朽の美人」を描き出すべく意氣込んで居る

本日聽報を添ふ

大きさ世界一の常陸丸殉難記念碑
潮來の金原親分が一肌ぬいで
明年六月には除幕式

【東京電話二十七日發】寄附金問題のゴタ〳〵から久しく行惱んでゐた常陸丸殉難記念碑が茨城縣潮來の親分金原常次郎さん(五五)の義俠心で東京九段下牛ケ淵公園內に建設される運びに至つた、旋毛を曲げてゐた東郷老元帥も行がゝりを棄て機嫌を直し「常陸丸殉難記念碑」と八字の碑文に名筆を揮ひ久しい間雨風に打たれてゐた石碑に向つて去る六月十四日から常次郎親分が息子の明善さん(二七)以下九名の身內を引具して上京この炎天下で碑文を彫り始め約一ケ年後の昭和六年六月十四日の記念日に除幕式が行はれるやう工事を急いでゐる、この記念碑は高さ三丈九尺五寸、厚さ二尺、幅七尺の仙臺石で完成の上は日本一は愚世界一だといはれてゐる、表面には東郷元帥書、常陸丸殉難記念碑の八字が刻まれるが、一字の大きさ三尺五寸で一字を彫るのに六十日かゝるといふ、裏面には殉難者千二百六十名の氏名が一寸四角の字で彫り込まれる、常次郎親分は日露戰役の從軍兵で記念碑建設が行惱んでゐるのを見て一肌脫ぎ殆ど無報酬で引受けたものである

11—3
投手難の實業 遂に涙をのむ
實業慶應第二回戰

慶應大學對實業第二回戰は廿七日午後三時三十分より實業球場において二神(球)兒玉、南條(壘)兩氏審判の下に慶應先攻で開始、第一回戰の好ゲームに人氣を呼びその上日曜のことゝてファン殺到す、劈頭第一回慶二死後井川四球に出で山下の單打で還り續く宮武三側低投に生き三谷の單打で二點計三點を第二回には村尾の二壘打に出で牧野の單打で一點を第三回には宮武單打に出でて續く打者に援けられて一點第四回には村尾一二間單打をきつかけに七安打中牧野の二壘打井川の三壘打宮武の本壘打等で五點、四回までの得點までに十點を上げたるに反し實無點すでに大勢決す、第六回再び一點を上げたが第八回實第一打者中川遊撃右單打に出で宮武の一越單打で還り漸く零敗を逃る第九回裏上原四球に出で一死後岩瀬中堅右に二壘打して上原還り中川の三越單打と津田の遊越單打で岩瀬還つたが宮武の三側で中川三本間に挾殺され更に津田も二三間に挾殺されてチャンスを逃し結局十一對三で慶再勝す閉戰五時四十分

試合經過

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
慶得點	3	1	1	5	0	1	0	0	0	11
實得點	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3

▲第一回 慶應楠見二飛牧野三側井川四球で二盗し山下の右前單打に生還宮武の三側低投に山下三進宮武二進三谷遊撃右をゴロに拔き山下、宮武續いて生還岡田の一側に止む△實業中川四球で二盗津田も四球でつゞいたが宮武、渡邊共に三振し中島投側

▲第二回 慶應塚越一直後村尾左翼線に二壘打し楠見の一側に三進牧野一壘ベース上に單打して村尾生還井川の遊側牧野を封殺△實業木下三振源川投側安藤兄二飛

▲第三回 慶應(實業木下右翼源川一壘に更代)山下右飛宮武一二間單打三谷二壘左をゴロで拔き宮武一擧三進岡田の遊側三谷を封殺する間に宮武生還塚越は遊側して岡田を封殺△實業岩瀬投側中川、津田共に遊側

▲第四回 慶應村尾一二間單打楠見の山前單打野手これを逸して村尾三進楠見二進牧野一越テキサスの二壘打して村尾、楠見生還牧野は一擧三壘に走つて刺さる井川左中間三壘打山下二壘左に單打し井川生還宮武スローボールを左中間の塀を遙に越す大本壘打して山下、宮武生還三谷遊側岡田三越單打塚越投側に止む慶應五點△實業宮武遊側渡邊四球で中島の三側に二進したが木下投側

▲第五回 慶應村尾三飛堀(楠見に代る)三振牧野中飛△實業(岡田退き小川捕手となる)源川、安藤兄共に三振岩瀬左飛

▲第六回 慶應井川二側內野單打山下見逃して三振後宮武右中間單打して井川一擧三進三谷の二側宮武を封殺する間に井川生還小川右飛△實業中川四球津田右前テキサスし中川二進したが宮武の投側中川を封殺し渡邊三振

▲第七回 慶應(實業渡邊、源川安藤兄退き武井捕手、上原右翼安藤弟二壘木下一壘となる)塚越中飛村尾遊側堀一飛△實業木下遊飛上原死球に出で安藤弟の二側で二進したが岩瀬三振

▲第八回 慶應牧野一二間單二進したが山下中飛後投手牽制球で牧野死ぬ宮武敬遠の四球三谷左飛△實業中川遊撃右をゴロで拔き二盗し津田の投側後宮武の一越單打に生還宮武は球の本壘に返ろ間に二盗武井四球たが中島左飛し木下の遊側武井を封殺

▲第九回 慶應小川一邪飛塚越投手足下を拔いたが村尾の遊側塚越を封殺堀左飛△實業上原四球小西(安藤弟に代る)中飛後岩瀬中堅右に二壘打し上原生還中川三越單打して岩瀬三進津田は遊越單打して岩瀬生還中川三進し最後の攻撃を賑はせたが宮武の三側で中川三本間に挾殺され更に津田も二三間に挾まれて空し

(慶應)

		打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四球	刺殺	補殺	失策
8	楠見	3	1	1	0	0	0	0	1	0	0
8	堀	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0
5	牧野	5	0	3	0	1	0	0	1	2	0
7	井川	4	3	3	0	0	0	1	3	0	0
9	山下	5	2	2	0	0	1	0	0	0	0
3	宮武	4	3	3	0	0	0	1	12	0	0
4	三谷	5	0	2	0	0	0	0	2	1	0
2	岡田	3	0	1	0	0	0	0	2	1	0
2	小川	3	0	0	0	0	0	0	4	0	0
1	塚越	5	0	1	0	0	0	0	0	7	0
6	村尾	5	2	2	0	0	0	0	2	4	0
	計	44	11	18	0	1	2	2	27	15	0

(實業)

		打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四球	刺殺	補殺	失策
7	中川	3	1	2	0	2	0	2	2	0	0
5	津田	4	0	2	0	0	0	1	2	1	1
6	宮武	5	0	1	0	0	1	0	1	6	0
2	渡邊	2	0	0	0	0	2	1	2	0	0
2	武井	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
8	中島	4	0	0	0	0	0	0	3	0	1
393	木下	4	0	0	0	0	1	0	9	0	0
93	源川	2	0	0	0	0	1	0	2	0	0
9	上原	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
4	安藤兄	2	0	0	0	0	1	0	4	2	0
4	安藤弟	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0
PH	小西	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	岩瀬	4	1	1	0	0	1	0	0	2	0
	計	32	3	6	0	2	7	6	25	11	2

本壘打ー宮武、三壘打ー井川、二壘打ー村尾、牧野、死球ー塚越(上原)試合時間二時間十分

戰評

▲第一回戰に好投を續けた岩瀬投手も連投の疲れを見せて安打十八本を打たれた、第四回村尾の單打續く堀に快打されたとき岩瀬投手の交代時であつたが、木下對法政戰における突き指未だ快らず、岩瀬の連投を餘儀なくせられた▲その結果は牧野に二壘打され井川に三壘打を放たれ山下に二壘左に快打され宮武柵を遙かに越す本壘打にとどめを刺され計五點を與へた▲勿論この回における得點は岩瀬投手の連投の疲れと不用意なスロー、ボールの投球にも依ることだが各內外野手の守備範圍の狹きこともその一半の責任を負はねばならない▲この日の試合において武居を起用し上原小西等、新選手を入れたことは實業としては思ひ切つた作戰であつたかも知れない然し實業の前途を考へるとき時に應じて新進選手を起用することは決して徒爾なことではあるまい▲六大學リーグの覇者たる慶軍の胸のすくやうなきびきびしいプレーを見て一體吾人は何を敎へられ、何を考へさせられたか▲一大野球王國と稱されて居る大連の野球も眞劍なプレーと年齡との相違の前に完全に屈したことを

竣工した長春駐屯聯隊兵舍
―正面が聯隊本部・後方は卅八聯隊第一大隊豫―

女子オリムピツク選手(きのふ奉天驛にて)

罷業する覺悟で待遇改善を要求
天津郵務總會の不穩

【上海廿六日發電通】天津郵務總會は上海總局宛待遇改善に關する最後通牒を發し容れられずば總罷業も辭せずと強硬態度を採つて居る右は海關乘取りに味を占めた山西派が郵政獨立計畫の第一歩として貳大性を帶びるものと觀られて居る

税務講習會

關東廳にては來る九月一日より千歲倶樂部にて一ヶ月に亘り税務講習會を開催する事となり決定せる講習員は旅順二名、大連十名、金州二名、普蘭店二名、貔子窩二名合計十八名で講習科目は財政學、會計法、國税徵收法、所得税法、地方税規則、間接税犯則者處分法、支那語、釀造學大意、地租法、取引所税規則等にて講師は未定である

白玉山奉納相撲
一行百六十餘名が參拜後 きのふ昭和園前にて

日本大相撲橫綱宮城山兩大關玉錦豐國一行の白玉山奉納相撲は廿七日の日曜日好天候に惠まれ午前五時より櫓太鼓の音も勇ましく行はれた、一行は午前九時五分着列車にて井筒取締以下幹部一行百六十餘名來旅出迎への年寄玉の井を始め、世話方一同と共に白玉山に參拜今村神官、青木理事、世話方と共に玉串を奉奠し、それより井筒取締橫綱宮城山兩大關玉錦豐國及び內藤四朗氏は世話方の案內にて太田長官、菱刈厚東司令官を訪問の後直ちに昭和園前の場所入りをなしたが此日來觀者の主なる者は太田長官、厚東司令官の家族を始め三宅參謀長その他各方面の團體を合し約千五百餘名あり流石例年より公休日だけに盛況を見せ四時五十五分中入りとなり愈々橫綱宮城山は露拂播瀨川太刀持ち雷の峰立行司木村庄之助と共に滿場割るゝが如き拍手裡に美事な土俵入りを行ひ斯くて高出山に依り弓取りの式あり午後五時卅五分目出度打出した、中入り後の勝負は左の如し

勝		負
太郎山	(上手投げ)	池田川
大蛇山	(釣り出し)	若瀨川
播瀨川	(かけ凭れ)	吉野山
雷の峰	(踏み込み)	寶川

日本大相撲の奉納相撲(廿七日旅順昭和園前で)

ハワイ水泳選手渡日實現か
日本の希望に應じて

【ホノルル廿六日發電通】學校の都合で渡日困難とされて居たハワイ水泳選手は日本水上聯盟の再度の希望から渡日實現の模樣である若し渡日するとせば一行は八月七日ホノルル發の淺間丸に乘船の筈である

タコマ、東京間逆コースの飛行
ワーク氏の準備整ふ

【シヤトル廿六日發電通】タコマ東京間太平洋逆コースの橫斷飛行を計畫中のシヤトル飛行家ロバートワーク氏は着々準備を進め橫斷使用機は燃料タンクを取りつければ廿八日には飛び出せる迄整備して居る

機關手慘死

【鐵嶺特電二十七日發】大石橋機關區勤務機關方見習脇田義昌(一九)は二十九日朝十三列車に乘務し八時十二分鐵嶺驛着、勤務交代のため下車して宿泊所に赴く途中眼鏡を忘れたるに氣づき引返して再び線路を橫ぎり東側に渡らんとせる際驛構內入替作業中の貨車が後方より來り避ける隙なく轢き倒され即死した

日本大相撲けふ初日

橫綱宮城山一行の日本大相撲もいよ〳〵今廿八日より電園下において擧行するが初日取組は左の如くである

錦洋(寄り切り)劍岳
若葉山(寄り切り)眞鶴
玉錦(寄り切り)朝汐
豐國(下手投げ)宮城山

(朝光(朝汐(大蛇山(吉野山
(潮ケ濱(晴ノ海(沖ツ海、太郎山
(海光山(上宮山(高浪(池田川
(若瀨川(雷の峰(錦洋(若葉山
(播瀨川(玉錦(寶川(宮城山
(能代潟(眞鶴 豐國(劍岳

夏家河子の水泳場開き盛況

夏家河子の滿鐵水泳場開きは二十七日同場で擧行された滿鐵鐵道部酒井庶務課長、地方部土肥庶務課長、栗野地方課長始め滿鐵出入記者等一行四十四名は十二時四十分大連發列車で同所に赴き水泳場、水明館貸別莊、キャンプ生活等を視察し地曳網に興じた後、一行は十七時二十二分發列車で夏家河子出發歸連したが、六時から市內扇芳亭で祝宴を開いた

藏前會懇親會

藏前工業會滿洲支部にては廿五日來連の東京工大見學團一行久米團長以下十四名、滿鐵沙河口工場及中央試驗所に現業練習の東京工大生四名、並に大連商業學校に敎諭として着任の馬場政治氏及び近く視察の爲め渡米の途につく滿鐵大連工場の高野氣次郎の諸氏を廿六日午後六時より電氣遊園登瀛閣に招待歡送迎懇親會を開いたが、出席者五十餘名に達し主客歡を盡し午後九時三十分散會

好成績だつた遠泳大會

黑石礁滿鐵水泳部では二十七日黑石礁、天の川間の五哩、三哩の遠泳大會を開催した、遠泳は午後一時より開始、同四時十分終了したが、この日中西滿鐵人事課長も來觀を見せ大いに激賞し豫期以上の好成績を示した、成績左の如し

▲五哩合格者 村田正明(一八)飯野明(一八)近松春夫(二四)清水輝雄(二〇)石見秀夫(一五)黑木盛夫(二一)原田猶之(二〇)▲三哩合格者 加藤映一郎(四四)右の外二哩、一哩合格者十名で落伍者は僅かに一名に過ぎなかつた

拳銃射擊大會成績

二十七日擧行せる第二十二回拳銃射擊の出場射手は九十二名にて午後一時半終了成績は左の如くであつた

▲一等四十四點貞元助、二等四十三點松田松次郎、三等四十二點西村榮

▲二等射手(一般射手)▲一等五十點久保田賢一△二等四十八點羽原稔△三等緒方末彦△四等四十七點中尾鎭澄△五等四十三點小玉榮△六等四十三點富田順喜△七等四十三點小林謙△八等四十二點島田行正△九等四十二點茂見孝之△十等四十二點寺井齊△十一等四十二點玉川了三△十二等四十一點吉田鶴松

▲奬生射手△一等四十一點菊岡博△二等三十九點井上武△三等三十七點中島茂雄△四等三十二點白石寅雄△五等三十點石田健幸

▲特別風船玉射擊入賞者 西村榮、緒方末彦、衛藤衛、邊見貞彦、貞元助、

尙一般射手久保田氏の五十點は實に稀に見る成績にして同射場開始以來初めてゞあると

慶應軍奉天へ

滿倶實業の兩チームをストレートで破つた慶應大學野球チーム一行は二十七日二十二時發列車で奉天に向つて出發同地で奉天滿倶と一戰の上北寧線で天津に到り八日頃再び當地に歸り歸京の由

日支周遊團
旅大見物の日程

ジヤパンツーリスト・ビユーロー主催の日支周遊團一行を乘せた商船あめりか丸は廿八日午前六時大連港外着の豫定であるが、一行は百六十六名で七時頃大連上陸埠頭ビルーフにて紺野埠頭案內係主任より大連についての說明を聞き九時三十分旅順に出發各戰蹟の見學の後十七時五十分着列車で歸連自由行動に移ると、尙は同周遊船は廿九日正午大連出帆の筈

ブ中尉機
東京へ輸送す

【タコマ廿六日發電通】ブロムリー中尉は試驗飛行の結果東京よりタコマへ東向無着陸飛行をなすに決し太日機體を解體これを携へプレヂデント、リンカーン號で日本へ向つたなほ中尉は東京よりの飛行は三ケ月以內に出發したい意向だと

全長春軍に凱歌揚る
對撫順陸上競技

【奉天特電二十七日發】全撫順對全長春軍との對抗陸上競技大會は廿七日午後一時四十分から西公園トラツクにおいて開催された、この日絕好の運動日和に惠まれスタンドは觀衆を以て埋まり、先づ競技は百米突競走より開始されたが兩軍共各競技に大接戰を演じたが結局合計點數撫順軍四十三點半長春軍五十點半にて長春軍の勝利に歸した

滿日地方版

奉天

構內貨物を盜む 七人組逮捕

被害品多額の見込み

奉天驛構內を荒してゐた貨物泥棒に關しては奉天署で同構內の樣子を知れる支那人の仕業と睨み捜査中の處廿五日夜五名廿六日朝二名の犯人を逮捕し目下嚴重取調中であるが彼等は共謀して大膽にもこの泥棒を行つたもので被害品も相當多數に上る見込みである

匪石畫伯活佛と交驩

過日當地において個人展覽會を開催し好評を博した匪石畫伯は今回活佛の滯奉中を機會に宗教藝術研究のため中日文化協會奉天支部長都甲文雄氏の斡旋で活佛に面會し日支宗教の交驩をなし最後に席上揮毫をして贈呈したが何れも運筆の微妙日本畫の進歩せるに驚歎してゐた

奉取信總會

奉天取引所信託會社の第十八回定時株主總會は廿六日午後三時から同所にて開かれ左の事項につき協議決定する筈であつた

一、昭和四年上半期の營業報告、貸借對照表、財用目錄、損益計算書承認の件

一、利益金處分に關する件

一、監査役一名辭任により補缺選擧に關する件

一、退任監査役慰勞に關する件

花樹を折つて 罰金五元

廿六日午前十時頃鮮人李某が北陵公園內の花樹を折り取つたといふので支那官憲は李を公園管理處に拘引し現洋五元の罰金を科せられたが所持金なきため懷中時計一個と萬年筆を押收された右の通知に接した領事館警察署では係官現場に出張し交渉の結果漸く引取ることが出來た

製鋼所運動 積極化を要望

奉天新聞通信懇話會は廿五日井筒に臨時會を開催、昭和製鋼所鞍山設置促進に關し意見を交換する所あつたが全滿的運動の擴大結束を必要とするに意見一致しその一階梯として全奉天の輿論を集結する爲め商工會議所、地方委員會その他と協議を遂ぐることに決定散會したが、この結果に基き會員打揃ふ二十六日午後四時より商工會議所を訪ひ理事と會見種々懇談する所あつた

營口

第二埠頭岸壁を最新式に改築す

二萬餘圓を投じて

滿鐵では第二埠頭石張り東方護岸の岸壁を今回最新式シートパイル式岸壁に改築することゝなり本月二十五日から起工し十月三十日に竣工の豫定である同岸壁は長さ二百五十米突にして鋼矢板を以て岸壁を綴り他は鐵筋コンクリートを以てし請負金額二萬二千六百三十六圓四十一錢を以て福井高梁組に落札した

人事

▲三浦關東廳內務局長 廿六日撫順往復

▲岩井鐵道省技師 廿六日長春より過奉安東へ

▲齊藤同技師 同上

▲小宮同技師 同上

▲森本關東廳警務課長 廿五日旅順より來營

▲楓內代議士 廿五日來營

▲吉場朝鮮軍主計監 同上

▲セミヨノフ將軍 廿五日夜歸連

蒲生氏赴任

蒲生前地方係長は二十六日午前十時發列車で家族同伴大連に向け出發した驛頭には見送り人多數であつた

遼陽

竹田氏離貔

長らく當民政支署土木係主任として勤務の竹田宗造氏は關東廳林野整理課に榮轉したが、二十六日午前八時貔子窩發列車で家族同伴官民多數の見送り裡に離貔した

水害防護の協議會

城東太子河の決潰箇所から氾濫すれば附屬地の本町筋は堤防が稍完全になつたので先づ安全地帶、西郊外滿洲紡績は數萬圓を投じて此の春工場社宅周圍全部を完全に築堤したので之又大丈夫だが附屬地の北部生田、片岡農園の耕農地から歩兵營隊附近に亘る一帶は無防區域であるので被害は多大と想像される、處が地方事務所や領事館からの再三の交渉も支那側の無理

貔子窩

産駒飼育者に獎勵金下附

毎年關東廳より種馬の派遣を受け管內の馬種改良を圖つて居るが、其産駒が轉賣其他により轉出するものが多いので當地民政支署殖産課ではこれが保護獎勵をなす爲め先に關東廳より下附の獎勵金を八ケ月以上の保留飼育者に一頭につき金十圓づゝ下附した

長春

會議所總會

長春商工會議所では來る卅日(木曜)午後四時からヤマトホテルで左記事項に關し定時總會を開催すると尙會議終了後納涼園で晩餐會を開催すると

一、昭和五年自三月一日至六月末事務報告の件

二、昭和四年度財産目錄報告の件

三、昭和四年度經費收支決算報告の件

四、議員一名補缺選擧の件

劉副總辦辭任說

吉林官銀號副總辦劉鈞氏は都合に依り辭任する、の說が傳へられてゐるが氏の後任に長春副長馬仲援氏が擬せられてゐる馬氏は此程來赴吉中であつたが二十四日歸來した、尙同氏の吉林行きは吉林官銀號總辦榮厚氏との諒解のためであると傳へられてゐる

解で護岸工事も駄目、第二案の附屬地の周圍築堤も本年の雨期といふやうなことは夢想だも出來ぬ、結局一朝水害といふ場合は安全地帶に避難と云ふことで、廿六日午後二時から社員倶樂部で協議の結果は避難を要するやうな水害があれば昨年規定された附屬地警備規則に據り、領事館が警備本部で領事が部長で各部署を定め在住民の生命財産を救助するより外なしと決定、午後四時會議終了した

三宅參謀長巡視

關東軍參謀長三宅少將は新築の兵舍巡視の爲二十四日來長各所を巡視し市內各所に分駐して永く軍隊が市民に多大の迷惑をかけし事を謝し一般市民へ傳へて貰ひたき旨の挨拶があつた因に參謀長は廿五日午前八時卅分發急行で公主嶺へ向つた

人事

▲立命館大學生二十五名 二十五日午前七時來長直ちに哈市へ

▲哈爾濱小學校生徒 二十五日海濱聚落より過長哈爾濱へ歸へる

▲宗町小學生五十七名 二十五日朝海濱聚落より歸來

▲鹿兒島高等農林生二十二名 二十五日過長哈市へ

▲大平滿鐵副總裁令息及横田氏一行七名 廿五日來長市內視察の上同夜歸連

▲三宅少將(關東軍參謀長) 廿五日公主嶺へ

撫順

七A—六にて 撫順軍惜敗

法政軍との試合

大連滿倶を慘敗せしめた法政大學野球部は二十五日來撫、午後四時より永安臺球場において奉天滿倶の香川(球)田村(壘)二氏審判の下に法政、若林、田坂、撫順森內、渡邊、裡にバッテリー撫順先攻で開始された、何分連日の雨に祟られ好ゲームに饑へきつてゐたファンは定刻前より球場さして雪崩込みその數四千人本年最初にして最後であらう程の人氣を呼び法政は奉天との試合には第四投手を立てグッと調子をおろしてやつたのに反し州外の梟雄撫軍に對しては全くのベストメンバーで向へば撫順も自らグラウンドに出で激勵する處頗る緊張野球部の元老岡發電所長あり戰前既に悽愴の氣みなぎるかの觀あつたが前半に於て若林の出來頗るよく且つ法政の水も漏らさぬ守備に反し撫軍內野(殊に三壘手ミス多かつた)のエラー續出、加ふるに森內の球コントロールなく好打のつるべ打ちを喰ひ一回二點三回一點四回二點六回二點計七點を與へたるに反し撫軍は四、六回に各一點辛くも二點を得たるのみで七對二で慘敗すると見えしが第八回表流石の若林の球勢衰へたるに乘じた撫軍の尾崎、岡田、森川(二壘打)高田(二壘打)の好打にファン四千の歡聲湧く間一挙四點を奪回戰ひは全く逆轉法政投手を石垣に代へしが九回表撫軍三者石垣にひねられ撫尾の攻撃遂に空しく結局七A對六にて撫軍惜敗閉戰六時、この日の安打撫軍九、法政七

撫順	原	崎	田	邊	川	田	內	原		
	野	尾	岡	渡	森	高	森	出	森	
	4	7	8	2	3	6	1	9	5	
法政	田	野	井	林	垣	澤	坂	嗣		
	島	刈	矢	藤	若	西	長	田	大	
	7	6	3	9	1	5	8	2	4	

經過

▲第一回 撫三者凡退△法島四球に出で刈田の犧打に送られ二進二死後藤井、若林の敵失と西垣の安打に島、刈田生還(撫零法二)

▲第二回 撫渡邊中右間のテキサスに出で高田敵失に生き一死後滿壘チャンス來ると見えしが出原の二併にダブルプレーを喫す△法無得(兩軍零)

▲第三回 撫無得△法島二壘打に出で二死後矢野の安打に一點を加ふ(撫零法一)

▲第四回 撫渡邊中續二壘打に出で高田の犧打に生還初めて一點を得△法若林三併失に出で西垣の左越本壘打に二者生還(撫一法二)

▲第五回 兩軍無得

▲第六回 撫尾崎の遊併失に出で二盜岡田の右越二壘打に一點を加ふ△法長澤三併失出坂二併失に出で島の安打に二點還る(撫一法二)

▲第七回 兩軍無得

▲第八回 撫尾崎中前安打に出で二、三盜岡田赤遊擊横をぬく強ゴロに出で渡邊の遊併失に無死滿壘となるとき森川中右間に二壘打をかつとばし三者還る(この時法投手を石垣に代ゆ)次で高田の左横二壘打に森川生還一擧四點を加ふ△法三者凡退(撫四法零)

▲第九回 撫最後の攻擊に善戰せしも遂に空し

鐵嶺

落盤から大工 四名慘死

鐵嶺日前古城子第三捲揚下で鑿工四名の慘死事件あつた直後二十五日午後三時三十分大山坑斜坑入口より五十米突の地點落盤の爲作業中の支那人大工四名即死、一名瀕死の重傷を負ふた、頻々として犧牲者を出すので當局その對策を研究中

『秩父宮殿下拜謁記』 權太氏が記念出版

本年六月秩父宮殿下の鐵嶺御通過に際し奉天鐵嶺間において御召列車に伺候し拜謁の光榮に浴したる のみならず鐵嶺附近の状況に就て御下問に奉答し尙獻上の永樂短銃御嘉納の御沙汰を拜した鐵嶺商工會議所會頭權太親吉氏はこれを一門一族の光榮とし子々孫々にまで永く記念として傳ふべく當時の模樣を詳述したる「秩父宮殿下拜謁記」を出版近く近親の知友に配付する由、新著四六版五十餘頁寫眞五葉表紙には秩父宮樣御成婚記念メダルを配し美麗な本である

公主嶺

第一レコード會

鐵嶺四公隊上對抗競技の第一レコード會を廿六日午後二時より小學校の運動場に於て開催した

中澤巡査送別 野球紅白試合

常署勤務中澤巡査部長が四平街署に轉勤となつたので署員は同氏送別の紅白野球戰を二十六日午後一時より公園のグラウンドに開始、白軍先攻七回戰の結果十對八にて紅軍惜敗となつた

鞍山

君島博士 視察

九州帝國大學工學部長君島八郎博士は二十六日午前九時卅分發列車にて來鞍し製鐵所を視察したが、同大學出身の久留島庶務課長外は大いに歡迎する處あつた

代表委員歸鞍

大連の全滿大會に出席した石川義助、神田藤兵衛の兩氏、加藤政人、阪元藤三郎、山崎英武の三氏は廿六日朝歸鞍し大會の報告會を開催すると

本溪湖

庭球と劍道の 指導

熊澤三宅二氏が

鞍山中學の教諭で軟球テニス界の權威熊澤信二氏は同校教諭劍道五段の三宅欣吾氏と帶同廿六日午後四時五十九分着の列車にて來溪することゝなつたが本溪湖庭球協會にては同日午後五時より滿鐵コートに於いて熊澤氏のコーチで練習マッチを行ひ、終つて氏の講演を乞ふと同時に滿鐵道場にては折柄の土用稽古に三宅氏の指南、及び當地有段者諸氏との手合せ等が行はれることゝなつた

高根澤氏赴任

當地方事務所庶務係長より大連本社人事課へ榮轉した高根澤長耳氏は、廿五日午後五時十七分發の列車にて家族同伴赴任されたが、驛頭には多數の見送りがあつたなほ後任の山本憲一氏(前安東地方事務所社會係主事)は同日家族を迎へるため安東へ出發した

ミルク入 森永コノミビスケット 乳兒に安心して与へられる

安東

驛庇事件の公判

請負業者成行を注目

全滿の土木請負業者からその成行を注視されてゐる所謂開原驛事件新築驛の庇が墜落して皆川上等兵を無殘に壓死せしめた過失傷害致死事件の第一回公判は二十五日鐵嶺領事館法廷にて八ヶ代司法領事渡邊檢事々務立會の下に開廷されたが、被告は滿鐵奉天地方事務所建築係として現場監督の任にあつた滿鐵社員伊藤鳳美を始め工事請負者大連大同組代表向井熊一及工事係佐伯貫一並に吉田正太郎の四名にて型の如く原籍現住所位階勳等の訊問あり終つて先づ伊藤から訊問開始伊藤は滿鐵會社と請負業者の所謂工事請負契約の詳細を述べ開原驛工事は本契約には庇の厚さ四寸とし內部には約八寸五分間には長さ四分棒の半分位ひな徑三分ボールトを入れる契約であつた從つてボールトの間隔は約四十二三分である、然しこれを庇の先端まで入れ四分棒の中だけのボールトでも庇を支へる力はあるけれど充分と認められないので大同組代表者と協議の結果四分ボールトは契約通りとし三分ボールトも同樣庇の先端までの長さの物を用ふる事とした、これが實際に行はれて居ればよかつたが墜落した庇を調べた結果使用したボールトは全部細三分物ばかりであつた、これは四分棒を入れる事を忘れたものであらうと思ふと述べるや、現場監督として四分棒の使用されなかつたのを知らなかつたのかと問はれ

現場監督と言つても工事監督のみが職務でなく工事の打合せや書類の整理など各樣の職務を負はされてゐるから一々現場に就て調べた譯では無い、工事の現場には請負者側の現場監督も居るから私が三分棒と四分棒を檢査して渡したのだから當然使用されたものと信じてゐた

工事の結果が四分棒の使用されてゐなかつたといふ點に對し責任をどう感ずるかと突き込まれ

私はそれまで責任を負ふ必要は無いと思ふ此工事のみに專任されたわけでなく他に色々の仕事を命じられてゐるから細かい點まで充分手の廻らないのは當然である

と突ッ張り他の三名に對しては簡單な訊問があつて一先づ閉廷更に近く滿鐵建築係長木滑覺氏を證人として喚問開原の實地に就て檢證する筈

木材及び河豆の出廻り激增

市場頓に活氣を呈す

連日の降雨あつて天候は晴れ鴨綠江の河水は適度の水嵩を増して上流方面に滯留中の木材、河豆は續々として流下を始め大豆の如きは連日一萬石以上の流下を見る上向の傾向にあり又木材も既に筏を見るに至つた一時梗塞された安東經濟界も頓に活氣を呈し需給關係から大豆、木材共ヂリ安を呈する反面焦げつき銀價は急激に暴騰を見せ瀕死の狀態にあつた安東財界も頓に活氣を呈するに至り操休同樣の製材工場も近く夫々操業を開始するに至るべく油房は既に活氣を呈するに至り操休中も今の處ヂリ安であるからこの趨勢を辿るにおいては近く大豆の內地輸出も可能となるべく財界一般はこの好轉に雀躍して居る

密輸犯人御用

平壤生れ通稱朴利俊事文澤坤(二七)は安東縣において絹紬價格二萬圓を求め入鮮密輸を企てたことを新義州稅關監視課に探知され各所に逮捕方の手配をなし行方嚴探中の處京城へ奉尾町某妓住宅に潜伏中を本署員に突止められた右の通報により身柄引取の爲め監視課の夏目看視出張廿三日夜連行歸新し目下取調中である

上田大隊長輕快

豫て滿鐵醫院に入院中であつた上田大隊長はその後經過頗る良好で近日中退院の見込がついた由である

過失致死に罰金

去る六月二十四日オートバイを運轉して開原市內を疾走中通行した爲めオートバイが顚覆し同乘の北村フミエ(二一)を傷害致死せしめたもに對する事件は二十五日鐵嶺領事館において公判開廷立會の渡邊檢事々務より罰金八十圓を求刑したが審理の結果罰金四十圓に處する旨判決言渡しがあつた

阿部氏夫人葬儀

當驛庶務係主任阿部衞守氏夫人は永らく病氣の爲め北海道に轉地加療し少康を得たので歸宅したが又復經過思はしからず奉天に入院中であつたが藥石も其効なく二十五日朝死去した享年四十五、葬儀は二十六日當地高野山にて行はれ炎暑の折ではあつたが會葬者頗る多かつた

四平街

馬賊嫌疑者 證據薄弱釋放か

去る二十一日夜突如不逞鮮人出現し威を揮つて逃走した以來一般鮮人商賈は恟々として不安の念に驅られてゐる矢先翌二十二日の白晝日本人馬緒經營たる昭平縣附近も日本官派出所を目前に控へ通行中の支那婦人に拳銃を擬して脅迫身に纏へる貴金屬を始め目星き衣類まで掠奪逃走する等物騷な不祥事件が頻々として隨所に起るので當警察署は彼等が巧に出沒する裏面には彼等と連絡をとれるものありとして附屬地內は元より地外にかけて百方捜査の手を擴げてゐる折柄鐵嶺庫北の小部落に特兇器の馬賊が潜在してゐるといふ報に各刑事連は戰闘準備を整へ一擧に同部落に踏み込み一戶殘らず家宅捜査を行ふと共に擧動不審の徒を殊數驅ぎとして本署に引致したが取調の結果は匪賊と目るべき點が薄弱なるより一應放還するらしい

海の唄

『五』

仲木貞一作 一木弴畫

に……軍艦なんて生意氣だい……借すもんかい……」

こう云つたきりで、それは決して借して與れなかつた。

縮めば賴むほど、新聞賣子の乞食、やアい……と、我鳴り立てられるだけであつた。

彼は、とう／＼諦めた。

さうして、ボール紙や木片を集めて來ては、それに似た品を何うにかして製造してみやうと思つた

そんな時から繪具をぬつたり、何か設計して居るやうな事は好きであつた……」

「ほんとうに／＼私はお恥かしい身の上です。卑しい生れと育ちの身の上で、今日斯うして、お耶に安樂な日を……況して、お手をとつて繪筆のお敎へなど……私は、勿體ないと思ひます……」

最後に、和雄は斯う、感傷的な調子で附けたして云つた。

伯爵邸(五)

「貴方は、どこで然な繪を覺えたのです?……餘程小さい時から好きだつたですね……」

「ハイ好きは好きでしたけれど……」

……充分に習つたり覺えたりすることは、親が許さなかつたので今までの仕事はみんな自分だけのいゝ加減なものに過ぎないことをやつてゐたのだ。

和雄は、それから落ちついて夫人に話した。

十二の時に家が一度破產して、小學校へ通ふ朝と晩方とに、彼は新聞の賣子になつて、親子五人が喰べてゆくお米の代を稼いだことも……」

または、大きな玩具屋の店に、舶來品らしいセルロイドの軍艦が飾つてあつたのが、欲しくて……けれども、そんな品がどう間違つたとて、正當に自分の手に、這入らないことはよく知つてゐた。

それで毎日その玩具屋の店の前に彼は立つて……「まだ有る、まだ有る、誰もまだ買つて了ひはしない。他人の所有にもなつては了はない……」

憶いふ的かな慰安によつて、自分の慾望を制へ制へしてゐたが、或朝、新聞を配達して了つてから、また其の店の前へ行つてみると軍艦はなかつた。

イドの軍艦は……自分のこの寂しい朝晩の財產……は、遂に何者かのために、破壞されてしまつた。

こう思ふと、彼はもう堪らなくなつて、矢庭にその店の中に飛び込んだ。

さうして、其の買手を訪ねると、それは矢張り同じ年ごろの學校でも同じ級の生徒だつた。

それで、彼はまた思ひ切つて、その友達に……餘り仲の好くない方の友達だつたけれど

「……たつた一度でいゝから、その軍艦を借して下お與れ……ちよつと持つて見るだけでいゝから……」

と、云つて賴んだ。

「やあい、新聞賣子の乞食のくせ

「まあ、そんな可愛想な境遇に生立つたのですかねえ、ちよつと見かけたゞけでは、そんな苦勞は夢にも知らない人のやうですがねえ。

いゝえ、勿體ないなんて、そんな心配には及びません。氣樂にして、さうして勉强して下さい。伯爵も貴方のことは何時も賞めておいでになりますからね……幸福にして上げますよ。乾度ね……」

殆ど、生れて初めて、そんな話を耳にした夫人は、世にも然な哀れな磯らしい生ひ立ちの者があらうかと、はれるばかり、その心は深い憐憫と同情とで一つぱいであつたらしい……

夫人は、暮れてゆく木立の中に美しい顔を曇らせて、そこにほく／＼とした姿の若い和雄を、ぢつと視やつた。

……丁度、慈母がいとしき吾兒に對する時のやうな、淸い／＼愛の泉を湧らせた心持ちで……。

新刊紹介

▲滿洲に於ける藥用人參の生産及取引(滿蒙パンフレット十二號)藥用人參とは朝鮮人參であり、朝鮮人參の原産地は滿洲であつて、實に滿洲は同品の一大供給地であるといふことを知る人は少ないであらう、本著は安東に於て藥用人參の經營に任ずる邦人の唯一人者篠田信二氏の敍述になる(定價廿錢、大連紀伊町中日文化協會發行)

▲戰友(七月號) 定價十錢東京市牛込區原町三帝國在鄕軍人會本部發行

▲實業靑年(八月號) 定價廿錢東京麴町區平河町實業界社內實業靑年修養會發行

▲愛踊(八月號)(小田信子)古今集の女性と戀の歌(横山靑娥)等(定價四十錢東京小石川區江戸川町み蘭社發行)

▲海松(四號) 定價卅錢西宮市滿地谷其發行所發行

▲昭和四年滿洲政治經濟事情(滿鐵調査課編)本書刊行は昨年初めて試みられたのであるが、問題各般に亘る其の簡潔な敍述と統計とは確かに座右の良き研究材料である、即ち「政治外交事情」「農業」「林業」「鑛業」「鹽業」「工業」「商業」「交通」「勞働運動」「移民」「滿鐵營業の概況」の各部門に分ち、船橋半三郎、樋口勇九郎、永野賀成、栗本豐、安盛松之助、鈴木淸石井正泰、三上安美、上加世田成法の諸氏始め合計十九氏が全力を盡して執筆してゐる(三百十七頁定價一圓五十錢大連滿鐵發行)

▲露西亞事情(百十一號)「滿洲に於る赤化運動の情勢」定價廿錢東京丸ビル露西亞通信社發行

▲支那硏究(七日號)南京政府の事業と國民黨、上小林英一)定價一圓大連北大山通同會發行

▲新使命(七月號)定價三十錢東京芝白金三光町其社發行

▲朝ヶ七・號)定價二十錢朝鮮總督府發行

▲科學知識(七月特輯)國際無線電信電話の現狀(中上豐吉)等(定價八十錢東京丸ノ內二ノ六同普及會發行)

▲人生(十號)定價十錢東京小石川林町日本社發行

▲偉人(二號)貧窮の奮鬪兒、弱者の愛の戰士、勝れた爲政家、雄辯、實行、正義の人ロイドジヨージを論じてゐる(パンフレット型定價十錢東京市小石川區林町日本社發行)

▲生活と宗教(七月號)定價十一錢名古屋市中區南久屋町破鷹閣雲房發行

▲短歌前衛(七月失業反對鬪爭號)定價廿錢東京市小石川區小日向臺町其社發行

滿洲俳壇

募集規定

次回課題「早」「籐椅子」

「蟬」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲各紙に雅號姓名記載のこと▲締切七月末日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先、東京市牛込區若松町八二島田靑峰宛

滿日聯珠通信戰(六)

中央聯珠社大連支部職譜

先二段 長谷川之助(大阪)

勝二段 大田尾孤雁(大連)

▽六號間最星(五珠指定打)

四段井村永治講評

黑(九)を(十一)に打ち白(十)のとき黑(九)とは打たぬだらう。從つて前述の如く黑(十一)までの手段はその趣向よろしきを得ないと斷言し得る。黑(九)と引いた限りは(十一)を(十八)に止めることにならねば主意が立たぬ。同じく黑(九)を持つてしては(十一)に打つがいゝ。それは黑(九)を反對の(十六)に引き次ぎに白(十)黑(十一)とする手段がある。圖に比較して讀者は何れを採る、白(十二)大いによろしい、以下黑如何に防ぐも三々禁は免れない。長谷二段は評者大阪在住の頃は通信戰に勇躍されし有力家なるに此の不出來を意外とする。

夕刊
滿洲日報
七月廿八日
發行所　大連市東公園町卅一番地　株式會社滿洲日報社

條約案の精査附託 大體來週の豫定
下審査あすから續行

【東京廿七日發電通】二十六日開始されたロンドン條約に關する樞府の下審査は第一日にて既に第一章を終る模樣で關係書類を携へ廿六日午後輕井澤に赴ける二上書記官長は廿八、九日歸京し廿九日より引續き下審査を續行する豫定であるが本條約案は日英佛三國で特に嚴密なる研究を要する諸點もあるので約一週間を要する見込みである而して本條約案を附託すべき精査委員の決定も大體來週の豫定である

與黨の減稅方針
近く具體的に進言せん

【東京廿七日發電通】民政黨は軍縮剩餘金は主として減稅に充つべしとの方針から國民負擔輕減に關する委員會でこれが調査の歩を進めて居るが、愈々ロンドン條約も樞府に諮詢され海軍補充計畫も確立される運びとなつたので更に近く具體的に減稅に對する黨の意嚮を纏め政府に進言すると共に海軍側にも熟と諒解を求めて出來るだけ多額の減稅財源を求むべしとの議が起つて居る、即ち海軍側では條約の精神に鑑み軍縮剩餘金全部を補充計畫につぎ込むごとき横暴な態度に出るとは信ぜられぬが主力艦建造中止により浮ぶ財源は明年度にて約二千萬圓近くあるからこの内から砂糖消費稅織物消費稅の輕減營業收益稅免稅點引上げだけは是非共實現し與黨として公約を果すべきであるとこれが實現を期して居る

軍縮聯盟から請願書

【東京二十七日發電通】ロンドン條約に關し活動し來たつた山路一善、頭山滿氏等一派の海軍軍縮國民同志會有志は樞府に條約案が御諮詢になつたのを期とし二十五日請願書の上奏方を請願した

少年航空兵制度 愈よ實施か
近く調査會で審議

【東京廿七日發電通】陸軍の航空委員會では豫て から少年航空兵制度實施につき研究中であつたが最近大體成案を得たので近くこれを軍制調査會に移し軍制改革の一事業として實施する筈である、右は航空兵科は他の兵科と異り極めて機械的なので二年の在營では所期の目的を達し得ぬによるものであるが航空委員會の案の内容は大體次の如し

一、滿十八歳の少年を志願兵制度によつて募集し所澤飛行學校に一年若しくは二年在學せしめた上全國の飛行聯隊に配屬す

一、右志願兵には飛行機の操縱はさせず機關電氣裝置その他技術方面のみに當らせる

一、この制度實施と同時に機關工率電氣工率その他の技術關係工率を廢し若しくは減員する

日曜閑話
張子房の如き汪氏
孫文の智囊、支那革命の元勳

亡命放浪、これ革命家の常態であらねばならぬ。孫文が東西南北一生を安定すべき家だになかつたのは彼が革命家としての運命を遂つたものといふことが出來やう。レーニンなども然りであつた。併し彼等は歡ばれた。偶像にまで祀り上げられる騒ぎである。

×　×

汪精衛君も生ッ粋の革命家といふことが出來やう。五十に垂んとする今日まで東亡西放、日本にフランスに、かつて安住の地を發見せぬものゝやうである。孫文歿後彼の地位は蔣介石に對し、ロシアのスターリンに對するトロツキーの如きものであつた。理論闘爭において、革命支那中、彼の右に出づるものは恐らくいつても皆無ではあるまい。この理論闘爭の勇者たるの結果今日、轗軻不遇の放浪を餘儀なくせしめられたともいふことが出來やう。すくなくとも彼は孫文歿後の總理の直系を以て任じ、三民主義の祖述者、五權憲法の擁護者、建國方略の實行者、國民黨の支持者を以て任じてゐるの結果、同志なる蔣戰闘、苟合主義の新軍閥と相容れず、南方人の特有たる虹の如き理想を懷ふて今日に至つたものといふことが出來る。このところトロツキーのロシアにおける關係と酷似してゐる。

×　×

併し、誰が何といふても汪氏は孫文歿後の革命元勳であり、國民黨の元老である。二十餘年に亘り孫文と生死を共にし、形影相伴ひるや、北京において孫の將に死なんとする、汪氏は枕頭にあり遺言を手筆したほどであつた。

併し理想と現實とは必ずしも一致せず、孫文の理論、必ずしも支那の實情に當てはまらず、頑固な方面ではアレは西洋の翻譯思想なりなどゝ稱する有樣であつた。抽象的なる三民主義、殊に民生などの解釋に至つては、國民黨の幹部といへども一致を見ず、容共、排共などの問題を惹起することさへあつた。而して汪氏は今日、いはゆる改組派といふ左傾派を以て目せられてゐるのである。

×　×

この汪精衛氏が忽然として北上し反蔣戰線たる北方に參加せんとするのであるから、北方からは二の孫文として彗星の出現の如くに觀られたも當然のことゝいはねばならぬ。殊に革命運動の闘爭において第一人者とされてゐる汪氏が、主義に支持されてゐる閻百川、馮玉祥の擁護者、革命右派を以て任じてゐる西山會議派の人々と、果して調を合はし行くことが出來るかどうかと多大の疑惑を以て今後の成行が注目されてゐる。

×　×

汪氏の風丰に一見婦女子の如くモノをいふにもハニかむかに思はるゝほどのヤサ男である。寡言沈思、餘り多くを語らず、むしろ默々として談論風發といふやうなところはない。曾て米連の捕、日支人十數と共に瀋陽に會した。相生錄牛、彼を評して張子房と稱したが當らずといへども遠からず否、蔣氏の中の爽評であつたと思ふ。座にあり詩を賦し、それを詩せしが、必ずしもモボ流のハイカラでもなく、書もまた餘り拙ならずといふことは出來ぬ。夫人陳氏璧君、また内助の功に作なりといはばならぬ。この點、蔣介石夫人宋氏美齡などとは同日に談ずべからざるものがあるやうだ。（この書は當時汪精衛氏が昨日所輪を書して記者に示せるもの）

互助　汪兆銘

徐州驛に着いた中央軍の武器と彈藥

大藏證券は預金部へ乘替へ

【東京廿七日發電通】來る廿九日償還期限到來のと號大藏省證券八千萬圓は全部預金部に乘替へる事となつた

東鐵運輸會議

【ハルビン特電二十七日發】東鐵にては過般來營業課の運轉係と汽車課の車輛係の代表者會議を開催し貨物車運轉及運轉表に基く貨物の急遽に關する問題を討議中であるが、改正案は貨物運行に關係ある各方面に最も實質的のものであることを主眼とし歐亞直通貨物連絡の開始による急送貨物の取扱其他運行上の改正が決定される筈

東鐵代辦所改善
支那内地支部を充實

【ハルビン特電二十七日發】東鐵商業課の各地代辦所は撤廢し事業を縮小して經費節減を圖ることに決定したと支那側は報道してゐるが然し東鐵商業課の組織及び事業計畫の改革に關する研究は代辦所を全部閉鎖する意味ではなく代辦所の事業の單一化即ち從來東支沿線に設けられてあつた代辦所はこれを當該各驛に包含し現在最少限度の事務をより自由の範圍に擴大するにあり、改革の目的とする點は貨物を發送する場合、倉庫から倉庫への取扱は鐵道において仲介する時、荷受人は倉庫において仲介はしない又事業の單一化としては從來沿線に設けられてあつた代辦所で取扱貨物が少ない箇所はこれを廢止し、驛と合併し、驛長がその責任を負ひ代辦する、從つて總ての運輸、輸出に關する事務及び倉庫業は矢張り商務代辦所が取扱ひ驛では仲介事務は取扱はないだらう本問題は近く理事會に附議され決定をまつて實施するといふのである、これは從來東鐵商業部が無闇に支所を設置したのを全部東支沿線で主各驛に配屬せしめ長春、奉天、營口、大連、浦鹽、上海、天津の如き地方の支部を一層充實し直通連絡の取扱に積極的活動を開始するにあるといはれてゐる

大衆黨地方支部
合同完成指令を發す

【東京廿七日發電通】全國大衆黨は去る廿日の合同大會において中央部における形式上の合同は成立を見て居るものゝ地方においては各黨相對立して居る處が多いので黨本部は昨廿六日各地方部に對して直ちに合同協議會を開き一ヶ月以内に合同を完成する樣指令を發した

大森新理事 廿七日出發赴任

【東京廿七日發電通】滿鐵新任理事大森吉五郎氏は廿七日午後九時四十五分東京發赴任した

理想、不平矢繼早に總裁の前に暴露
和やかな氣分で時折笑聲爆發
滿鐵支社の懇談會

【東京特電二十七日發】仙石滿鐵總裁と東京支社員との膝をつき合はしての所謂懇談會は既報の通り廿六日午後二時二十分より支社において開かれたが、出席者は仙石總裁以下伍堂、大森、神鞭の各理事、大淵支社長並に約四十名の社員であられた、劈頭總裁から先づ杯を取つて喉を潤ほし乍らアイス、ウオーターを飲み乍ら漫談會氣分で開催された、その日の會合の主旨を述べて後は大淵支社長が進行係を勤めて、平素總裁に會へない人、學校出たての元氣な若い社員などになるだけ多く忌憚なき意見を發表せしめるやうに苦心した甲斐あつて、約二時間半に渉り出るはく、滿鐵のタイプライターの縱横書の能率の比較論から、本年度更正豫算の運延理由、各種の社業改善論、滿蒙根本對策、果ては總裁の社員「馬鹿ッ」呼ばはり問責論まで飛び出して總裁に迫つたものである

その間總裁は矢繼早に集中される是等の意見を默々として聞いてゐたり、ドカンとテーブルを打つて「それはかうぢや」とばかり若い社員の純理論一點張に駁撃を加へ、或ひは彼等の不滿な問題に對して諄々と懇切な説明を與へたりしてゐたが、會議室では時折り爆發するやうな笑聲、拍手などが起り一寸その邊の官廳は勿論、大會社でも見られぬ自由な和やかな雰圍氣を作り出してゐた

總裁貴方は滿鐵社員は眠つてゐるといはれたさうですが怪しからんですね

と元氣な社員が今日こそばかり簇凝すると

誰が君が眠つてゐるといつたか大體がそうぢやといふのぢや

と輕く一蹴する、また

社員から理事を沈擢しないといふことは甚だ不都合である、なぜ外部からのみ任命するか

との問に對しては

どんな人材が社員にゐるのか知らんが俺には解らん、かういふことは今日は好いチャンスぢやさういふ人物はその存在を俺に示してくれなきや困るぢやないか、自薦も他薦も皆無で、おまけに俺の所へは話をしに來い、何でも好いから意見を持つて來いといつても一向それを實行するものがない、それで人材拔擢もないではないか

と逆襲する、社員側でも主任の某氏の如き「歷代滿鐵幹部の更迭と社員の立場」について堂々の論陣を張つて正面から總裁と一問一答舞臺に渡り合つたのは見事であつたといはれてゐるかくて進行係の大淵支社長が幾度も閉會を奬めたにも拘らず老總裁ナカ／＼聞き入れず熱心に二時間半に涉る意見交換を行つたが總裁の胸中果して「滿鐵社員にも骨ごたへのあるのがゐる」と思つたかどうか、傍聽者も總裁の前で吐露された意見中近く委員會に採用される問題が數件あるといはれてゐる

一週間經つても張學良氏會はず
依然冷遇される南京派代表

【奉天特電二十七日發】張群、吳鐵城、方本仁氏等の南京派代表は張學良氏の懇召により王樹常、王樹翰兩氏附添ひ葫蘆島に赴いたが信ずべき筋の消息によれば張群氏等が赴葫して既に

一週間を經たるに拘らず張學良氏とは未だ一回も會見せず毎日王樹常、王樹翰氏等と麻雀などに戲れて纔に退屈を紛らはしつゝ學良氏にお目通りの叶ふのを待つてゐるといふ冷遇振りであるが、學良氏が遲々乍ら兎も角も張群氏等との會見を承諾し葫蘆島に召して置き乍ら遽に態度を變へて會見を拒むでゐる理由は推測に苦しむが中央軍が全力を津浦線に集中して濟南奪回を謀り一時その成功を危ぶまれたが何りなく隴海線方面の危急を告げ津浦線の兵力を割いて隴海線に振向けたので濟南奪回は絶望に終り膠着狀態を呈するに至り一方汪兆銘氏の北平乘込みによつて

北方側の氣勢頓に揚るに至つたので張學良氏はこの際花に南方に引揚げたら勸告する向もあるが張群氏としては一ヶ月の時日を費して何等の結果無く空しく引揚げることも出來ず進退兩難の苦しい立場に置かれてゐる模樣である

二十有餘星霜の海の生活を去る
大連港二人のパイロット

昨年八月大連港水先人組合規則の改正により今回同組合を勇退する事になつた瀨口澄太氏並びに森繁太郎氏の兩氏は愈々本月卅一日限り卅餘年の慣れた生活を捨て隱居に就く事となつた、兩氏ともにその技術方面と實力については國際的にも折紙を附せられてゐる

◇

瀨口氏は安政五年生れ薩州の藩士で明治維新のゴタ／＼にも顏を出し、酒間興づれば西南戰爭の功名話に花を咲かせ七十餘歳には見えない矍鑠ぶりブリッヂに立つてゴウエイ、ゴーストップに勇壯なる風采をうたつてゐた

◇

一方森氏は元治元年生れ佐賀の士族小兵ながら壯者をしのぐ概があり五米突六米突のジヤコップを猿のやうに驅けあがる樣は例へ慣れたりといへど驚嘆の限りである

◇

瀨口氏は明治十五年初めて練習船として帆船に乘込んだのが皮切りで亞知丸外十三隻の船舶を操縱し瀨賀ドツクの船渠長より轉じてパイロットになつたものである

◇

森氏は商船學校出身で岳陽丸布引丸その他數隻の船長の經驗を有し特に當時の書類には韓國沿岸、濟國沿岸航路に熟達してゐると記されてゐる、何れも風雨波濤と闘ひ重い實を擧し得た過去二十年を遠懷すれば感慨又深いものがあらう

愈よ何應欽氏武漢引揚げ
蔣氏に代り隴海線擔任

【漢口二十六日發電通】何應欽氏は愈々一兩日中に隴海線方面に轉ずべく漢口行營所屬職員等も大部分轉任する事となつた何應欽氏の漢口出發は左の理由に依ると云はれる

一、武漢撤兵準備

一、蔣介石に代り隴海線方面を擔任す

一、徐州行營主任賀耀祖と交代す

製糸工場の休業狀態
益々續出す

【東京廿六日發電通】農林省蠶系局發表に依れば、七月二十三日現在製糸工場休業狀態左の如し

▲群馬縣休業工場十一、從業員數七百三十九名
▲長野縣休業工場九、從業員數二百五十名
▲山梨縣休業工場十三、從業員數

東鐵運輸成績

【ハルビン特電二十七日發】東鐵の本月一日から廿日までの輸送成績は全部で一六五九八貨車、そのうち輸出五五七八車、輸入其他四四二一車、昨年の同期は二〇四六三貨車で、三八六五車減、輸出七七八〇、輸入其他六五四一であつた、本月の南行二五九〇七ウスリー二九七二車、滿洲里は九車であつた

四百五十名
▲富山縣休業工場七、從業員數六百名
▲愛知縣休業工場三十三、從業員數五千五百名

人事

關東廳辭令（廿六日）
任關東廳中學校書記　昭井　隆吉
關東廳中學校教諭　中島　政治
勳七等功七級
任關東廳中學校書記
關東廳事務官　日下　辰太
臨時馬政委員會委員を命す　田崎武八郎
臨時馬政委員を囑託す　渡邊　中
臨時馬政委員を解く

あめりか丸　廿八日午前六時大連港外着の豫定

▲大庭讓太郎氏（日本生命京城支店長）二十六日二十時半奉天列車で來連ヤマトホテルへ
▲鈴鹿登氏（歌人）二十七日入港のばいかる丸で來連
▲三宅源氏（東京慈惠會醫科大學校歩兵少佐）同上
▲徳田治三郎氏（神戸製鋼所取締役）同上
▲市川數造氏（滿鐵鐵道部經理課長）同上歸連

天氣豫報

廿八日（南東の風）曇

各地温度

	十一時	昨日最高
大連	二七、〇	二六、九
旅順	二七、四	二七、八
營口	三〇、六	三一、七
奉天	三〇、〇	三一、九
長春	三〇、五	三二、四

滿潮　午前十一時
干潮　午後六時三十分

廿年に亘り蒐めた維新前後の史實
史料編纂所で稿本出版を計畫

【東京廿六日發電通】維新史料編纂所が明治四十四年五月設置されて以來廿年間に亘つて蒐集し得た維新前後の史實は現在稿本三千八百冊(一冊日本紙百枚)に達したが編纂所では日本歷史の上に特筆大書さるべき維新大業の眞相を廣く國民に知らしむると共にこれが永久保存の一方法として稿本を出版すべく目下計畫中である、右の史料は弘化三年孝明天皇御卽位の時代より明治四年廢藩置縣に至る廿七年間の史實を細大洩らさず蒐めたもので完成迄には尚數年を要する見込みである今日迄は保存法として稿本の外タイプライター印刷五部を作製一部は編纂所殘餘は明治神宮、宮內省、京都御所外一ケ所に一部宛保管されてあるがこの種文獻として僅々廿七年間の事實を詳細に網羅せる點において世界にその比を見ざるものといはれて居る

三つの競技には優勝の自信
けふ奉天を通過北行した女子オリムピツクの我選手

九月六、七、八の三日間チエツコのプラーグで開かれる第三回萬國女子オリムピツク大會に出場の日本選手人見絹枝孃他五名の選手は京都二條高女井尻教諭に伴はれて本廿七日十三時着列車で元氣に多數の關係者に迎へられて着奉したが井尻氏は語る

日本が團體として參加するのは今度が初めてゞこの前の第二回大會には人見選手が一人參加しました、今度は是非三四回は優勝の日章旗を掲揚したいと思つてゐます、殊に走幅跳、二百米三種競技には充分の自信があり人見選手以下一同非常な意氣込でゐます、日本は八百米競走以外には全種目に申込をしてゐますが、人見選手は八百米以外は全種目に出場の筈です

一行は到着後直に北陵見物に自動車を走らせ盛大なる見送り裡に十五時五十六分發の列車で長春に向つたが、プラーグには八月十日到着の豫定である、尚一行は十一月六日神戸着の船にて歸國の筈

日本女子選手今夜着長
谷監督に引率され一行六名

【長春特電二十七日發】來る八月十五日よりプラーグで開催の第三回國際女子オリンピツク大會に出場の日本代表選手一行は廿七日午後九時着列車で來長、同十一時四十四分發列車で哈爾賓に向ふ豫定である、一行のメンバーは主將人見絹枝(大每)大庄ハツ子(京都二條)渡邊スミ子(名古屋高女)中西ユキ子(京都二條)村岡美枝(愛知第一高女)濱崎ちよ子(京都二條)の諸孃と監督の谷三三五氏であるが長春高女では歡迎會を催す筈であると

ダブルスで佛國快勝
デ杯佛米決勝戰

【東京特電二十七日發】パリよりの消電によればデ杯庭球チヤレンヂラウンド米佛試合第二日ダブルスは佛コーシエ組左のスコアで勝ち、佛二勝一敗となり第三日シングルスに一勝せば再び世界覇權を得る事となつた

コーシエ・ブルニヨン(佛) 六―三 七―五 一―六 六―二 (米)アリソン・ヴアンリン

コーシエ・ブルニヨン組は兩選手がダブルスにパートナーとなつて以來最も立派なプレーを見せ最初から優勢で、アリソン、ヴアンリンの苦闘も甲斐なく第一第二セツトはフランスのものとなつた▲第三セツトに入るやアメリカ漸く調子を整へ容捨なくブルーニヨンの虚を衝いてゲームを得六對一と斷然引き離して第三セツトを得、試合は全く白熱的となつたが第四セツトはコーシエ・ブルーニヨン組再び素晴らしいフオームを見せアメリカに逆襲の機會を與へず遂にセツトを許したのみでフランスの勝となつた、アリソンは時折り見事なプレーを見せ一流選手の貫錄を示した

ボ選手に叙勳

【パリ廿六日發電通】フランス庭球選手ボロトラ氏はチヤクシエヴアリアレヂオンドウノール勳位の最下級の勳章「レヂオンドウノール勳章」に敍せらるべき旨廿六日官報にて發表された

五年間增俸停止
其金を研究費に充當
東北大學の大決心

【仙臺二十六日發電通】東北帝國大學では昭和五年度實行豫算が一割五分天引の大斧鉞を受けた結果研究資料や實驗機械の購入費が半減され研究に大支障を來したので教授助教授講師の增俸を五年間停止して過剩金を研究費に當つる事となつた

日支のお客様で
デパートそこのけの賑ひ
大連驛構內で開催 滿鮮列車見本市

大阪商品陳列所主催の滿鮮列車見本市は二十六日より二日間大連驛構內(岩代町附近)で公開された、初めての試みであり金取引の上に一番密接な關係を有つ大阪商品のことゝて日支關係者の縱覽で非常な賑はひを呈してゐる、日本商品は三等車を取はづして四輛の車に陳列し車內は蹴々と中どころのデパートそこのけの充實ぶりであり、七月十五日釜山を振出しに滿洲では安東、奉天を終へて二十七日限り大連で解散することになつてゐる、參加商店は大阪で有數の十二商店で服裝雜貨類はどんなものでも一式取揃へこの價格十二萬圓にも達してゐる、初めての試みとて華客を惹きつける上にどうかと心配してゐたがこの通り盛況で取引契約も豫想以上の好成績を收めることが出來た

尚列車見本市で使用した從事員の藥罐團及び湯のみ類三十五人分は二十七日限り不要になるので適當な慈善團體に寄附したい意向である、希望者は直ちに申出られたいと(寫眞上は見本市列車下は商品陳列・車內)

最近の米國
野球は下火 蹴球が全盛
禁酒法反對漸く多數

一年十ケ月米國ジヨンス・ホプキンス大學に留學し今回歸奉せる滿洲醫大助教授醫學博士稗田憲太郎氏は語る

現今米國における運動界は一時全盛を極めてゐた野球はすたれ各大學ともフツトボールが人氣を集めその

勇壯さは 日本のラグビー以上である、又フツトボールの規則は日本と全く異にし一呎を爭ふまできつく出來上つてゐるので一シーズンに何十人といふ犧牲者を出した程であるその後規則が幾分緩和されたがそれでも十數名の犧牲者を出してゐるといふ猛烈さを示してゐる、それだけに選手も多く最も牛耳を握つてゐるノートルダム大學では學生の大部分がフツトボールの選手であるといふことである、米國の風習として日本で見られぬ事はお金のためなら何でもやるといふ主義で職業に貴賤の別を立てぬ米國では大學の教授でも

收入の多 い野球の職業團に加はるものが多々あるといふで無論將來お金にならなければ勉強もしないし、博士にならぬ學生であつても他に何かよい金儲けがあればすぐやめて就職するといふ現狀である、現在米國の野球界はフイラデルフイア、ワシントンの兩大學が全盛時代であるが何にしても各大學の學生が忍耐力強く眞面目であることには全く驚かされた、それから米國が盛んに唱へてゐる禁酒問題はその主旨は酒を飲むな、酒を賣買してはならぬといふ譯でなく酒を持ち運んではならぬといふ變つた

禁酒法で あるから酒を運んでゐるのを發見でもされたら極刑に處せられるが自分で造つた酒を自分で飲み又賣つてゐる處で買ひ求めて飲んでゐるだけなら處罰されるやうな事はない しかし酒を飲めばどうしても酒の持ち運びが必要となつて來るのでその間色々な犯罪が行はれる卽ち自動車、飛行機、パイプ等で日本では想像もつかぬやうな大膽な密輸入をやつてゐる、海岸なんかもよく行はれるとで當局では砲艦を巡航せしめて密輸入者を取締つてゐるといふ有樣であるしかしこの禁酒法施行によつて學生等は益々酒を飲み

上流社會 は酒がなくては社交が出來ぬといつた狀態で近頃では禁酒法案撤廢方に贊成してゐるものが大多數を占めてゐるやうである、近來米國では婦人の有權者多數を占めしかも婦人の收入は却つて增加するばかりで米國側某有力者の統計によるとこの調子で進めば五年後には稅金の半分以上は婦人が納めるやうにならうといふことである(奉天特信)

毎日百圓以上の金目の物を掘る
失業者には飛んだ儲けもの
芝浦埋立地に八萬圓の埋藏物

【東京廿七日發電通】芝浦埋立地に金目の金物が出るといふのでヨナゲが入り込んで採取し始めたのが四月十七日それから三月あまりたつた七月十四日迄の掘出し物の總額は六千十圓廿錢でヨナゲの延人員三千五百十八人一人當り一日の採取高の平均一圓七十錢餘に當る譯で初めの內は二三十名で一日價額にして二十圓から五十圓位迄であつたが七月にいつて激增し毎日百名から百五十名多い日には二百名近くのヨナゲが目を尖らして金物を掘出し毎日百圓から百七十圓迄の價格を掘出して居るが金銀銅鐵などの外にダイヤモンドが二個も掘出された、何にしろ天賞堂や服部時計店三越などのある銀座日本橋、京橋の燼灰をこゝに捨てたので今年一杯は採掘出來る見込みで約八萬圓位の金物が埋藏されて居る模樣である、入場料十錢さへ拂へば採掘勝手で一日平均一圓から一圓五十錢位はかせげるのであぶれた失業者にはもつてこいのものである

日本大相撲愈々あすから
人氣を呼ぶ本社優勝旗爭覇戰
電園下で晴天五日間

櫓太鼓の音も勇ましく待ちに待たれた日本大相撲協會西方力士、横綱宮城山、大關豐國、玉錦一行の當地電氣遊園下での晴天五日間の大相撲は愈々二十八日より好角家連中の熱狂裡に蓋を開くことになつたが既報の如く今回東方より新たに玉錦、若葉山兩力士が加はつたので一層人氣を呼んでゐる、本社は今秋當地に於て滿洲最初の學生相撲大會を擧行するにつき例年の如く斯道奬勵のため、東西兩力士五日間の勝星總得點數の多き方に大優勝旗を、同幕內旗手には金メダルを、又幕下力士の個人決勝戰を行ひ優勝者に金メダルを、二三等に銀メダルを授與することになつたと

內地は殺人的不景氣
市川經理課長談

滿鐵々道部經理課長市川數造氏は二十七日入港のばいかる丸で歸連左の如く語る

往復三週間の飛脚旅行でしたから別に面白いお土産話しもありません、內地は殺人的不景氣と苦熱に喘いでゐることは實に豫想以上です、昭和製鋼所問題は新聞に傳へられてゐる通りですが、總裁が歸らるれば面白い土産話はあると思ひます、總裁は鞍山說のやうですが、さてどうなりますやら今のところ全然不明です、服部顧問には東京で一寸會つただけです

風雲を志し二千圓拐帶
けふ水上署員に捕はる

田舍の父のもとでお店の番をするのが嫌になり滿洲の平原で何か一旗上げんものと父がコツ〳〵と貯蓄した虎の子二千圓を拐帶して當地へ高飛びしたが、田舍からの保護願ひでバイカル丸三等室で水上署員に取り押へられた青年があつた、名は石上満治(二四假名)といひ福岡縣田川郡添田町の雜貨商の二男であるが、生來何か大成したいといふのが彼の希望であり當地に叔父がゐるのを幸ひに高飛びしたのであると彼は語つてゐた、水上署では一先づ伊勢町の叔父某のもとへ身柄をあづけることになつた

俳人野風呂氏滿洲行脚

內地關西における俳句ホトトギス派の重鎭にして京都にて俳誌「京鹿の子」を主幹し現武德會體育學校講師鈴鹿登(野風呂)氏は暑中休暇を利用し在旅順の令弟を訪問旁々滿鮮視察を兼ね俳句行脚を思ひ立ち二十七日着ばいかる丸にて來連したが當地平原俳句會は大連俳句會と聯合近く歡迎俳句大會を催す由、氏は左の如く語る

御當地は初めてです、弟が旅順にゐますから父を遊びに連れて來るついでに來たやうな次第です滿洲は私のあこがれの地ですから父を旅順に殘し豫定も決めずにブラリ〳〵と沿線を步き廻るつもりです

慶大選手歡迎會

大連三田會では二十六日夕刻より星ケ浦星の家において慶大野球部歡迎會を開催、出席者八十名近年珍らしい盛會で先づ石村氏の開會の挨拶ありつゞいて腰本監督は野球部を代表して謝辭を述べ、宴たけなはになりて一同萬歲を高唱しこれに答ふるに選手一同はエールを唱へ時の過ぐるを忘れ十時半散會した

伊國地震の死傷者二百名

【ローマ廿六日發電通】イタリー地震の死傷者今迄判明したるもの死者二百十四名、負傷四千五百五十一名と公表された

リスアニアの前執政官流刑

【コヴノ廿五日發電通】當地官憲は二十四日夜前執政官ヴオルデマラス氏を公の秩序を攪亂したる罪にて逮捕し直に同氏をコヴノより追放し一年アンクロチンゲンに流刑に處した、氏の夫人は流刑地に同行した

夏家河子の水泳場ひらき

滿鐵地方部及び鐵道部は二十七日夏家河子に滿鐵出入記者團を招待し水泳場開きの宴を張つた

衞生研究所集談會

滿鐵衞生研究所では來る廿九日午後一時から同町圖書館で左記演題の下に第卅三回學術集談會を催すと

一、市販殺蛆劑の効力比較研究 會田安茂
一、滿洲金蠅の發生學的知見補遺 會田安茂
一、仔豚より分離せるパラチフス屬桿菌に就て 安藤守之助、坂本寛吉郎
一、支那食研究(その一) 柴藤貞一郎、渡邊正夫

自轉車乘昏倒す

二十六日午後九時二十分、市內淡路町山縣通十字路を小崗子編譯街三三殷成旺(三〇)が自轉車に乘り疾走中大タク運轉手姜安照(三〇)の操縱する自動車と衝突し殷は一時昏倒したが、直ちに恢復、自轉車は小破した

家出娘兄の手に

過日女の身一つで玄海灘を橫切り當地に逃げて來た山口ヨシ子(假名)は廿七日朝ばいかる丸で迎へに來た兄榮太郞に身柄を引渡した

愛子さん二三日哈市に滯在

【ハルビン特電二十七日發】目下當地にある高島愛子さんは尚二三日當地に滯在の豫定である

納涼大會開場

市內連鎖商店前廣場に設備中であつた法律時報社主催大連市役所後援の市民納涼大會々場は準備全く整ひいよ〳〵本二十七日午後六時から華々しく開場されることになつた

文藝

野球と相撲
—猫柳のことなど—
西園久二

僕は最近野球を見るやうになつた —「君が見に來たりするので雨が降る」と非難されたりした。成程、僕が行くと極つて雨が降るから奇妙である。

そういふけれど僕は中學時代に自分でやつた事がある。入學した時に「新入生紅白野球試合」といふので三點をつとめた事がある。

それ以來、僕は野球部に籍を置いてスコアをつけてゐた。

全國中等學校野球大會の豫選で慘敗し選手と一緒になつてをいをいと泣いた事もある。

白揚のスクスクと立ち並んでゐる校庭に、濃い宵闇の迫るまで選手達と一緒に放課後の時を過したものだ。

邂逅で仙臺にやつて來てゐた大相撲のチームと試合をした時には死んだ「猫柳」が紫縮緬の紋付きを羽織つて腕車を飛ばして來た、—彼は美しい力士だつた。

それ以來、僕は猫柳の隠れたる後援者だつた。

然し僕は曾て相撲といふものを觀た事がない。

腕力的な勝負といふものに、どういふものか興味が持てない、殊に相撲のように、やつてる本人達よりも觀てゐる人達の淺猿しい形相をみせられると、文句なく氣持が挫けて了ふ。

野球を見ても—近頃觀客のなかに「止めろ」とか「馬鹿野郎」とか騒いでゐるのを見ると僕は厭だ、それ程夢中になれる人は幸福だ—そんな氣持は微塵も起らない、唯、もう厭な氣持が何の餘裕もなく直接やつて來る。

昔から僕は、一體野球それ自身の勝負といふものに興味を持つよりは、勝負後の感情的な空氣が好きだつた。

殊に敗軍のいとも悲愴なる姿はいゝ。

僕は好きだ。

この感情的な空氣が最も濃厚なのは中等學校のチームである。

男泣きに泣いてゐる投手を支へながら愁然と退場して行く姿はいゝものだ。

空は炎晝、まづ一抹の涼氣を添す、といふものだ。

僕は今年から野球も見よう、相撲も見ようと思つてゐる。

だが、見ようと思つた時には僕の好きだつた「猫柳」は居ない、野球だつて近頃は漸く人々の人氣から離れようとしてゐる……おくれ馳せなのは「親孝行」ばかりではないらしい。

行友李風作の『國定』について
—河部五郎を見る—
靜田晴雄

凡そ劇壇における黄金篇—忠臣藏とも稱すべきものは、先づ行友李風作の「國定忠次」を置いては外に一寸と見當らぬやうだ、どんなちつぽけな劇團でも、凡そ劇團と銘打つものは必ず此の劇を舞臺に掛ける、そして掛ければ大なり小なり相當受けてゐるのである。役者は大根でも、劇其のものが持つ魅力——つまり國定忠次其の人の大衆性と作者李風のねらひ所のよさとが觀客を充分愉快にしてしまふのである。劇其のものに此れだけの力が有る、其の上に俳優さへしつかりしてゐれば、完全に觀客を握つてしまふことが容易である。私は此れまで色々の人の「國定」を見た。故澤田正二郎を始め、其の形をそのまゝ眞似てゐる淺草公園の吉田吉次郎、明石潮、高木新平、遠山滿、それに先日の河部五郎……が此の内俳優によつて幾分なりとも引立つてゐると思つた「國定」の舞臺は、御大澤正の外では河部一人であつた。

故澤正の「國定」は場所と時間によつて多少の出來不出來は有つたにしろ、東都一流の批評家をして、遂に一言をも云はしめず、さすが新國劇の首領、澤田として極め附けの名を付ける事を惜まぬ名舞臺であつた。……賜の國の住人小松五郎義兼が鍛へたわざもの、萬年溜りの雪水に清めて……と白刄を月に翳しての獨白は、江戸ッ子を唸らさずにはゐなかつた。

澤正と河部を比べる事は—河部に對しては失禮かも知れぬが—一寸段が違つてゐる。一方はとにかく全國的に謳はれた新國劇である。今賣出しとは云へ、巡業にある人手の足らぬ河部一座とは比べものにならぬ。その段違ひの河部一座が、何故遠山、高木等の一座より優れて見えるか?、そこには舞臺裝置、配光等の揃手から廻つた頭のよさと、苦心の跡を明りくと見せてゐる、特に山形屋の場等は今までにない舞臺の構へで花道を使ひ、見送りなれば、まつぴらだッ……と捨た獨自で見得を切り、其の場のきまりをつけて觀客を引つぱつて行く點等、其の賢明なやり口には感心させられた。

澤正の「國定」は劇と人が融け合つた舞臺、河部の「國定」は人が劇をよりよく利用した舞臺、と云つた感じが深い「私達は未熟者揃ひです。けれども名人がお茶を濁した舞臺よりも下手ながら命をかけた舞臺の方が皆樣のお氣に入ること〻思ひます」……と河部は挨拶をしてゐたが私は河部の「國定」を見て痛切に彼等の熱と努力を買つてやりたくなつた。

キヤフェ放浪
巴里晝夜旅日記より
在巴　今井朝路

なんと云つても一杯のキヤフェで心おきなくうれしい夢を描かれるのはやはりパリのキヤフェです。そして家々によつてそれぞれの特色が鮮明です。

畫家にモデル新聞記者に俳優に音樂家、詩人に文藝家に大學生とあつまる所がきまつてゐます。

キヤフェでかなりの家ならきつと文藝か劇にまた音樂か美術に由緣をもつてゐます。

× ×

キヤフェでもつとも樂しい時間は踊り場の閉場た時間です。キヤフェはパリッ子にとつては唯一の天國です。

また自ら哀しまるゝエトランゼエにあつてもキヤフェに優る慰安所はありません。倦怠も郷愁もおのづと消えてゆきます。

素樸の人の心が美しく正しく新らしき感情の大交響樂を奏でゝゐます。

× ×

十九世紀末葉から文學美術音樂演劇とキヤフェとは次第に關係が結ばれてきました、なかにも詩人は失はれた心をキヤフェで回復しました。

生活の煩雜も倦怠もキヤフェで忘却しました。

そして新らしいほゝえみはキヤフェから生れました。

十七世紀の放浪詩人達のキヤフェ禮讃にもまして十九世紀の詩人達が競ふてキヤフェ放浪に若さをかぎりなく燃やしました。

× ×

自分の行きつけた二三のキヤフェを紹介しておきませう。

藤村さんのエトランゼエでおなじみのキヤフェ「リラ」はパリ・モンパルナスの畫家町の近くです。

此の家は老作家の多くが不斷に參集する所です。「ガズ」の蒼白い灯をあびた宵のテラスは又ひとしほです。

モンパルナス大通のキヤフェ・ラ・ロートンドのターブルはいつも青年畫家達に占領されてゐます。

レエニンがありし日しばしば訪れては靜かに革命を畫策したゆかりのある家です。

向ひにキヤフェ・ル・ドームがあります。

昨今ドームの人氣は素晴しいものです。

隣のキヤフェ・クポールは近代的な感覺で客を呼んでゐます。

× ×

サンミッセルへとタクシーをとばせます、此處に畫家と詩人と大學生の歡樂境……

ネオン・ランプにつゝまれたヌクタンビキル(踊り場)の赤い花には痛い「トゲ」がありますから御用心……

× ×

セーヌ河畔に牢獄酒場があります。一杯キヤヴオと云ひます。

一杯のセリー酒で十四世紀十五世紀の昔に逆行させて呉れます。

× ×

こゝは薄命詩人アランポーの小說からぬけ出したモンマルトルのシヤノアール(黑猫)です。

かつては畫家ルドルフサリーの酒房だつたのです、氣まぐれものゝ連中が金曜日の夜を一般に公開したのが今日をなしたのです。

即興詩人達が唄つた詩がパリの流行唄となつたのです。畫家、詩人音樂家、粹人達がキヤフェに於てあつまる因をなした一つだとも云はれてゐます。

× ×

モンマルトルの裏手にラパン・アヂールがあります。

十九世紀のモンマルトル派の藝術家の根城だつたのです、壁にぬたくられた落書のなかに見のがす事の出來ないなつかしいものがあります。

私の好きな作家の名も見出せます。

× ×

此處はモンパルナスの畫家街
歩道に刻まれたやはらかい靴音

× ×

キヤフェ・ノアールで口紅をけした
モドモアゼルの横顏

× ×

足がものいふ街の聖母の衣ずれ
戀を戀するパリの夜に置きわすれた
眞赤な心臟

× ×

あまい私語に倦んだ時キヤフェの「ボルト」に指をふれる事が何よりもなつかしい

× ×

あきやすい人間の情感の求むるものは
灰色の偶像のあのやはらかい髮の毛でも
眞珠の齒でもふくらみをもつルビー色の乳房でもない……早くメントール酒でもかがせて呉れ

× ×

オピユウムのさめないうちに新らしい
夢の連續をみせて呉れ

× ×

夜會服の胸に開いたカレンな花にマドモアゼルの心を植ゑませうか

× ×

みどりの靴の娘ですか
黑い瞳の娘ですか
いゝえそれあの娘です

× ×

此處はサンミッセルの大通
畫家と詩人と大學生……
トントわすれていました
お孃さんの事を……

× ×

葉卷はアメリカ
紙卷はフランス
ピープはアングレ

夏を描く
來島義禮

樂屋のこと

井戸から覗くやうに上へ折曲つて燈影の射す部屋、上り切つて上草履をトンと……

「先生、お暑つう」

フイとのぞいた部屋の中、下地を附けた白い座長の背越に、濡れた島田が姿見に映つた。

部屋の中は金光燦爛として解き放した衣裳の丸帶、一所に紐やら帶止めやら、赤い裾やら、紅の入つコロやら、なえしおれた花束のやうに脱ぎ棄てあるかと思へば又片方にはきちんと疊んだ背を大模様に染めぬいた奴浴衣、さては緞帳の朱鞘、黑の塗に鍍錫……中はぽつと燃え上るやうな暑さ……

紅をさして目張りを入れ、ポンと手をはたいて、それから衣裳の下襟をかかえて、博多をシュッと鳴らし、ダイッ……とメて一寸息ぬき。

坐り直して初めて客の方へ、羽二重でメた顏を向けた座長、

「ヘイ今晩は……お暑う」

島田が二ッと微笑む。成程座長の衣裳は厚みの綿入れ、其の上襦に置いた三斧傘には綿で散らした雪模様……

「冗談のけて内心よりは大分氣候が過ごしやすいやうで……彼方は蒸されるのか焼かれるのか、本當にお客のあるのが不思議な位……

チョーン……チョーンと柝が入る……

「先生、舞臺は格別お暑うおすやろな……」

島田が一寸と首をかたむける

「ヘイ、暑氣が皆舞臺に集りますので……」

「ほんとに!」

と大げさに感心したその島田、のけ樣の頤ふつくらと、二かは目に紅を散らした、口許の可愛らしい、色の白い女であつた。

と、チョンチョーンと二丁が入つた。

「オイ、あたま……」

と呼ぶ座長の聲、答もなくスッと顏を出した床山が、

「先生、支那人の道具方が……」

と壓へつけるやうに云ふと、ぴよいと頭を立て直し

「何時……」

「舞臺裏で死んじやいました」

「たつた今でさあ、心臟痲痺で……二十年も勤めて居た男ですとさ」

チョン〱〱と柝が入つた。

悚然として、向直ると、突當りの窓から中庭の樹の梢がみだれ黑髮のやうに振へて居るのが闇の中ながらはつきり見える、ブルルッ……と座長は、眞實に襟相縫入れの衣裳をふるはした。

滿洲生活
坂本幸子

フラスコの裡に生かされてゐる
こゝちに醒めてくるのです
酸素が稀少ないですネ

◇

これはアラビアンナイト——
のひかれたる頁!ではないでせうか
蒼く!
その上を靜謐な眞夏の碧空が
縁どり飾つてゐる
葬送の透く黃金の花冠もて

◇

社宅街のひつそりと鎭ひ過ぎた
音の絕えた、生活に何處か漂つめられ
裝はれた靜謐!の匂ひ!
かしては來ませんこと!
—沈黙—
手を息すめられない!
濃かに盛上る石鹼の泡沫の上に
内線を透した!
黃金の
火の!幻想の珠玉
がいま破碎け散亂るのです
紡むく
泡沫です
でもそれでは不可ない!と仰しやるのつく凝氣
散亂る泡沫!
を紡なぎとほして
瞬時の!
あせてゆく花冠!を編んでゆく
——わたしなのです

ラヂオ露語講座
大連放送局七月廿八日午後七時
講師大連語學校グロースマン氏

СОРОК ТРЕТИЙ УРОК.

Раздается голос кондуктора: "Господа, приготовьте билеты".
Пассажиры вынимают билеты. Входит обер-кондуктор.
О.—Ваши билеты, господа.
А.—Пожалуйста.
О.—Вы едете в Москву. В Маньчжурии вам пересадка.
Б.—Пожалуйста.
О.—Вы едете в Цицикар. Вам, вечером, около шести часов надо слезать.
А.—Далеко ли вы едете.
Б.—Я еду в Маньчжурию. Там у меня транспортная контора. В Харбин я ездил за некоторыми товарами, а главное изучать местный рынок.

第四十三課

車掌の聲が響いてゐる:"皆さん切符を準備して下さい"
旅客は切符を取出してゐる、車掌長が入つて來る。
O.—皆さん御面倒ですが切符を拜見致します、
A.—はい、
O.—貴方はモスコーえ行きます、マンチユリヤ驛で乗り替へです、
Б.—はい、
O.—貴方はチ、ハルへ行きます、貴方は晩六時頃降りなければなりません、
A.—貴方は遠くへ行かれますか、
Б.—私はマンチユリヤ市に行きます、あそこに私の運送事務所があります、私はハルビンに或る品物の爲と大なる地方の市場研究に行きました。

滿洲日報

天下を風靡してゐる此強健術に病弱者は勿論健康者も必ず來れ！

東京市技師 西勝造著

西式強健術と觸手療法

醫療界に大革命來る 百卅版

定價壹圓 送料六錢 口繪著者寫眞挿入

仙石總裁曰く

俺の知つてゐる西といふ人が研究したところによると、世界中に斯ふ云ふ方法が三百六十二ある。その粋を拔いたのが西の方法だと云つてゐる。この頃著述をしたさうだが、さう云ふことを精神修養に用ゐたら一生懸つてやらなければならないものでも直ぐ出來る。病氣に罹つてゐるものでも直ぐ癒る。

名士十八氏の實驗談掲載す

卅有餘年間、東西古今の強健術三百六十餘種を實行せる著者が、今進化論上に基礎せる科學的強健術を創始發表す。朝夕僅に十分間これを實行すれば無病息災、三年續行せば蚤も蚊も喰はぬ不死身となる。而して本書に依り四十分間の合掌行を實行すれば、何人も觸手忽ち難病痼疾を治す神秘の靈能を體得し得

東京銀座西一丁目 振替東京參貳六番 實業之日本社

皆様のお履物は

山内履物店

浪速町三丁目(電五七八一番)
浪速町商品館(電六三一八七)
沙河口勸業場(電三八六八)

大不景氣打開の唯一の道、合理化！

合理化なくして現代に生きる方法なし

社會經濟の全面的現實的指導書を見よ

産業合理化全集

▼現代の合言葉、合理化！全世界は合理化に絶對の信頼を措く。大恐慌大不況をいかに切拔くべきか。眞に合理化の本質を把捉せよ！かくて暗黒の不景氣は斷然光明に展開せん！

豫約全廿巻

編輯 慶大 向井鹿松 神戸商大 平井泰太郎

1 産業合理化總論 慶大 向井鹿松著
2 産業合理化の原理 名古屋高商 赤松要著 宮田喜代藏著
3 企業經營の合理化 東京商大助教授 増地庸次郎著
4 生産組織の合理化 大阪商大教授 村本福松著
5 勞働力の合理化 倉敷勞働科學研究所長 醫學博士 暉峻義等著
6 作業と合理化 廣島文理科大學教授 古賀行義著
7 製品及用具の合理化 東京帝大名譽教授 工學博士 斯波忠三郎著
8 商業經營の合理化 神戸商大助教授 平井泰太郎著
9 市場の合理化 神戸商大教授 福田敬太郎著
10 金融・景氣の合理化 名古屋高商教授 高島佐一郎著
11 金融市場の合理化 東京帝大助教授 舩爪明男著
12 交通の合理化 慶應大學教授 増井幸雄著
13 農業經營の合理化 京大教授 農學博士 橋本傳左衛門著
14 公經濟の合理化 (財政)東京商大教授 上田貞次郎 (公營)大阪市長 法學博士 關一
15 世界經濟の合理化 (官營)協調會 民間同志會長 武藤山治
16 勞資關係の合理化 小島精一著
17 産業會計の合理化 勞働總同盟理事 松岡駒吉著 慶應大學教授 三邊金藏著
18 利益處分の合理化 ダイヤモンド社長 石山賢吉著
19 産業の合理化批判 山川均著
20 産業合理化圖錄 附・産業合理化文獻 神戸商業大學經營學研究室

高橋龜吉著 ◆第一回配本中

日本資本主義の合理化

第二回・世界經濟の合理化 小島精一

(申込は全國書店へ)

規約

◇菊判總布表紙銀箔カバー付 ◇五號一段組各冊四百餘頁
◇申込金なし
◇毎月拂金一圓八十錢、各冊送料 市内六錢、地方十六錢、鮮滿十六錢
◇一時拂(全廿巻分前金)金三十六圓に割引す、送料市内一圓二十錢、地方三圓二十二錢

◆ハガキ申越次第 内容見本進呈

申込金ナシ 各冊壹圓八拾錢

東京・日本橋・通三 春陽堂 振替東京一六一七

怪談名作揃ひ

文藝倶樂部夏季増刊

夏の讀物はこれ！一讀慄然の傑作揃ひ!!

▼白狼記 額田六福

墓を發いて死屍を啖ふ女

彼は……それは恐らく彼が一度だつて想像しなかつた光景であらう。彼は戀人の死骸の傍に四ツ匍ひになつて、肉を裂きながら狼の様にむさぼり喰べてゐるのを見た。……(本文の一節)

此他まだ面白い讀物滿載！

◎くろん坊 (半獣悲戀) 岡本綺堂
◎怪異の闇 (凄慘洗血) 長谷川伸
◎首締め扱帶 (悲戀怪奇) 大倉桃郎
◎血色い慧 (美女怨念) 潮山長三
◎五月雨双紙 (人買奇聞) 米田華紅
◎黄色い燈 (妖艶復讐) 田中桃葉
◎蜘蛛の手 (祇園夜話) 長田幹彦
◎狐の帳 (妖影綺談) 田中貢太郎
◎渦紋蛇 (不老秘藥) 伊藤松雄
■(姐妃お百) お化伊勢屋 蛟龍齋貞吉
■(名人奇談) 應擧の幽靈 白河雷藏
■(一蓮傑然) 吐月峰の音 蓁々齋梧樓
■(報恩異聞) 足洗屋敷 柳巷亭春水

エロ怪談 一千二夜から譚
第二夜 男、女と化するの話
第三夜 スポーツ好きのタイピスト
第四夜 東洋の美しい街の話
第五夜 エロチツクなダンサアの話
第六夜 靑褪する孔雀の話
第七夜 赤坊になつた花嫁の話

▲江戸末の怪談好み(三田村鳶魚)
▲怪異墓碑考(矢田挿雲)
▲怪談・芝居噺(河竹繁俊)

怪談諸國物語
○生首のすげかへ ○亡き妻の幽靈は語る ○變化に取られた女房 ○生靈のある木像 ○化かされ狸の一人情死 ○女房に化けた狐 ○不思議な名醫の悔悟

◆定價七十錢(送料三錢)

書店賣切の節は直接本社へ御註文下さい

◎東京市小石川 振替東京二四〇番 博文館

新天地社版 十六專門家擔當執筆

滿蒙事情十六講

菊版製本 極上コツトン紙三二四頁 輕快紙質 正價一圓五十錢 送料八錢

滿蒙の政經文化は正調を辿るか、逆流に棹さすか。今や滿蒙問題は尖端的皮相觀を排し正道より直視する眞摯なる態度を要求してゐる。本書は滿蒙の內政・外交經濟・文化苟も日本人として須知の問題を凡て網羅し、而も斯界に造詣深き現地の新進專門家が日頃抱懷せる意見、日常經驗せる事實を率直大膽に大衆の前に吐露した點に於て斷然群書を拔く。滿蒙正解に資すべき唯一無二の好著

發行所 大連市浪速町 振替大連五五番 同常盤橋 連鎖各店街 振替大連二二七 (本店)東京 (支店)京城、奉天、旅順 大阪屋號書店 全滿各地書店

大理石の御用は 内田石材店大理石部へ 南滿大理石工場 工場電九九三〇・自宅電七七四〇番

醫家諸賢の御推奨を希ふ

オキシフル

(1) 不時の負傷に對する應急手當藥として……
(2) 口腔咽喉性傳染病流行時の豫防藥として……
(3) 齒牙の保健を目的として……

家庭に常備すべきことを

類似品を强賣する向あり御購求に際しては、必ずオキシフルと指定 又、三共株式會社名儀に御留意を願ひます (實驗報告集進呈)

三共の藥品

東京室町 三共株式會社 大連市山縣通一九二 三共藥品販賣所株式會社

成長發育を促進し、疾病に對する抵抗力を增進する新榮養素……ヴイタミンA……を攝るには、牛乳可なり、鷄卵可なり、肝油亦可なり、而して三共ヴイタミンA最も可なり蓋、三共ヴイタミンAは之を前記食品中のヴイタミンAに比すれば、牛乳に六九四二倍し、鷄卵に三六二倍し、肝油に二五倍する力價(動物試驗による)を有し、少量にて足り、且つ服用し易きを以てなり

説明書進呈

一瓶 50個入 100個入 1000個入

東京室町 三共株式會社 大阪、臺北、京城 賣捌

社説

南北關外の共存共榮を圖れ

あくまで武力解決を主張してゐる蔣介石の南軍は隴海線に不利、濟南の挽回も捗々しからず、最近傳へられるところによると徐州を退却して蚌埠に司令部を移すとさへいはれる。これでは武力解決どころでなく、南京政府の把握さへ覺束なくなつて來た。この間にあり、汪精衛は恰も凱旋將軍のやうな恰好で北平に乘り込む。支那の內訌に相應はしいコントラストといはねばならぬ。

◇

北平に乘り込んだ汪は、必ずしも南京政府を否認して居らぬ。この邊、將來への用意の存するところともいへるが、汪は必ずしも南方に對してのみでなく、奉天側に對しては甚深の注意を拂つてゐるものゝやうである。すなはち彼はいはんと欲するところをいはず、選擇會釋、腫物に觸るやうな態度であるともいはれ得る。而して彼は、政務は閻氏に、軍務は馮氏に自分は黨務を鞅掌すると稱して居り、世人の最も疑問視してゐるところの三派（西山派、改組派、實力派）聯立の可能に努力しつゝあるもののやうである。汪氏に果して、この時局收拾に對する忍耐力があるであらうか、世故に圓熟した彼としては、あるひは無謀なる理論一轍にのみ猪突せぬであらうか、この當局收拾に不得意なるところがまた汪氏の長所でもあるのである。とにかく汪は、非常なる隱忍自重を以て北上した。この自己抑制が相當のところまで持續さるゝにおいては、三派の聯立必ずしも不可能なりとはいへぬ。孫文でさへ袁や段や張やと手を握つて革命達成の現實に努力したのであつた。東奔西走の汪氏に、この間の消息が領會されぬ筈はないと思はれる。

◇

南北の分立對峙、これ必らずしも革命理論の鬪爭の結果であるとはいへぬ。多くの場合、私利私慾情實感情の疎隔から來るものの如く、蔣介石の獨斷專行といふたところで、五千年の歷史が生んだ支那民衆の一人であれば、汪も蔣も閻も馮も五十歩百歩といふべく、在朝黨と在野黨の對峙といふに過ぎぬが、單一政黨の支那の現實では實權派は即ち官軍、然らざるものは賊軍といふことになり、そこに反對派を退ける寬容の態度を示し得ぬから武力解決より外に方法なく、武力解決は支那の歷史上、地理上、絕對不可能とあつて南北對時が當然の成行といふことになつたのである。たゞ南方も北方も互ひに抗爭するが奉天側に對しては互ひに秋波を送りつゝあるといふところ、主義思想としては徹底を缺き現實の支那の抗爭としては全く已むを得ぬ現象といはねばならぬ。理論一轍の汪氏なども、この邊の事情は百も承知のことゝ思ふが、要するに支那國民革命の理論と實際とは容易に一致すべからざるものなることを基本として支那の事象を論斷せねばならぬ。

◇

こゝにおいて吾人は特に汪氏らの革命理論家に向つて、支那の現實を凝視し以て大地に立脚して堅實に闊歩せんことを支那國民革命のために希望するものである。遠方に燈火を認め、それに向つて暗夜疾走するとほど危險なことはない。而して吾人はこの際、汪氏が西山派とも實力派とも和衷協議しその和衷協議の精神を擴大し、奉天側との提携は勿論、南方側とも否、蔣介石とも手を握つて支那の治安保持に努力精進すべきではあるまいか。今日、支那民衆の一般の希望してゐるところのものは、必ずしも國民革命の空名にあらずむしろ國民生活の安定に存することは明白である。支那革命の指導者らは、まづ國民生活に安定を與へ、而して後に革命精神の達成に邁進すべきである。孫文のいはゆる軍政時代より訓政時代への指導精神は、實にこの間の消息を構成したる理論といふことも出來る。時代の認識は人によつて異るが、今日の支那は、いまだ軍政時代にありと吾人は斷ぜざるを得ぬのである。されば汪、閻、馮、を一國とする北方政府、蔣らの南京政府張學良を棟梁とする奉天政府、これらが互ひに共存共榮の大精神に立脚し、聯邦式か國家式か、とにかく南北統一、全國統制への過渡前提として、國民革命への次善主義を以て進むも全般の時局を收拾する捷徑ではあるまいか。汪精衛その他の支那識者の反省を促さんとするものである。

北平政府の委員假定案通りに七名
閻、馮、汪、李、許、唐、張の七氏 更らに主席團組織

【北平二十六日發電通】北方政府の委員數は未だ正式商議に上つてゐないが、汪精衛氏來平後左右兩派及び實力派間の非公式商議の結果最初の假定案通り七名說に一致した即ち閻錫山、馮玉祥、汪精衛、李宗仁、許崇智、唐紹儀、張學良の七氏を委員として政府最高組織として七名中北平に長期滯在し得る者三、四名を以て主席團を組織する事に最後的決定を見ると確聞する

既定方針通り政府を樹立
八月十五日迄に成立

【北平二十六日發電通】擴大會議委員は既に十四名北平にあり山西派委員[illegible]、商震兩氏が加はれば法定數に達するから八月二、三日頃には正式會議の開催を見るに至るべしと信ぜられる尙閻馮兩氏も軍事上支障なき限り來平を求める筈である、而して政府組織は張學良氏から明確な意思表示なくも豫定の方針で進むべく西山派領袖鄒魯は北方政府が八月十五日までに正式成立を見るべしと斷言した

通車問題また不調
韓軍が應ぜず

【青島特電二十六日發】坊子領事館から通車問題について交渉の結果稍進展の向きにあつたが金嶺鎭にあつた山西軍の總指揮張蔭梧氏は韓復渠軍に對して無電にて山西軍代表馬良氏をして妥協交渉をなさしむるから軍用列車を準備せよと打電したるに韓復渠軍之に應ぜず從つて妥協會見に至らずして終に不調に歸した、戰局は相對峙の姿勢にあるが事實上山西軍が優勢である如く見られてある、戰鬪の區域は漸次縮小され韓軍は次第に後退の有樣である

蔣介石氏蚌埠に退き徐州放棄に決定す
津浦線の攻擊は中止となり 中央軍は益々不利

【北平特電二十六日發】蔣介石氏は蚌埠に退き徐州を拋棄することに決定し津浦線の攻擊は中止となつた、既に漢口は拋棄狀態にあり南北の交戰は中央軍の敗北の形となり目下のところ戰爭は一段落の狀態である

純正國民黨政府最初の存在
汪精衛氏抱負を語る

【北平二十六日發電通】汪兆銘氏は今二十六日午後再び外交處長朱鶴翔氏の來邸を求め北方政府組織に對する外交團側の意向を確め今後の對外策協議の後記者との會見において左のごとく語つた

一、武漢政府と北方政府とは思想上及び政治施設において重大なる相違あり來るべき北方政府は共產黨と分離し腐敗政策の錯誤を清算せる純正國民黨政府の最初の存在である
一、政府委員は五名、七名、九名の三案あるも余の考へでは九名の委員に落着くであらう
一、正式會議が八月中旬に開かるゝ事は事實である

汪精衞氏の北上とその影響
反蔣各派の乘合船は果して何處に落つく

汪兆銘來る！といふので北平は各戶に旗を立てゝお祭騷ぎのていである、記者は彼が入平した翌日廿四日鐵獅子胡同孫文先生行館に彼を訪ねる、應接間にしばらく待たせられる間にさま〴〵の回想が湧く、この孫文行館こそ民國十三年十一月老段に勸說して支那統一を促進させやうとして北上した時の孫文氏の假住居であつた、そして遂に死病を得て逝いた所で、汪兆銘氏等の門下にとつては忘れられない場所である、師も六年經つ、再び北方封建軍閥に擁せられ○兆銘氏が北上し、師の逝けた處に落ちつくとは先師に倣つたくさであり又因緣の深いものである。四十七歲の○兆銘氏を見て驚いた事は「若さ」である三十四歲と見ねばならぬ青年である、そして溫容一寸活潑端麗にも見へる靜かな態度であつた、彼の問答を要約して見れば

問　正式擴大會議は何時頃開かれるや
答　未だ決定してゐない、これは今明日中開かれる談話會で決定すると思ふが、大體の豫想では八月上旬であらう、又法定數の問題だが、別に過半數と規定したわけでなく、三分の一でもよければ今でも法定數には達してゐる、いづれこれらは次ぎの談話會で決定する
問　所謂「以黨治軍」といつたことで政治的統一の確定ありや
答　仲々困難と思ふ、しかし余が北上した以上は多少とも自信があつたからである、この點では各派とも讓り合つて聯合してやりたいと思ふ、これなくては中國は永遠に救はれない、尙吾等は蔣介石の如き獨裁的にゆくものでなくして合議して妥當な道をゆき度いと思ふ
問　北方實力派との今度の提携は國民黨の主義と矛盾する所なきか
答　妥協といつたことでは問題もあらう、但し現在の中國には二つの道しか殘されてゐない、一つは蔣介石のやつてゐる專制獨裁政治と、もう一つはこれが失敗であるといふことの證據立てられた今日はもう一つの道を選ぶより外は無い、それにはこれを倒す爲の手段から入らねばならぬ、その上に吾等の理想がある
問　汪氏は天津の車中及び各方面の新聞記者と會見して、外に向つて、殊に日本に對しては孫文北上の際神戶でなした講演の如く日本との親善と諒解が必要とするといふが、國民黨のプリンシプルなる帝國主義國打倒と矛盾せぬか
答　吾等は對外方針としては第一次全國代表大會における對外宣言に根據を持つ、その後容共政策以來この色彩は急進になつたしかし現在の吾等は再び元へ還らねばならぬ、帝國主義國云々も日本のみを目ざすものでなくこれらは一元的に見てゆかねばならぬので總べての上だけではならぬ
問　政府の主席として閻氏を推し貴下は表面の政治的舞臺に出ないといふが事實か
答　私個人としてはさうしたい、私等は民衆の政治的教化といつた方面と、黨問題に終始すれば足るわけである

話はぬけ目のない鮮かさであつた

◇

汪兆銘氏のかく迄急速に北上したことは北方將領さへも驚異的なことだといつてゐる、馮玉祥氏さへも「かく迄急速に彼の北上が出來るとは豫想しなかつた」と、これには北平の陳公博氏と香港にある顧孟余氏との組立てだといはれてゐる、出しぶる汪氏を促したのは顧孟余氏であつた、と見る向きが多い、この邊も新人連のすばやい活躍の力だ。「汪の來かたが早過ぎた」と文句をいつたさうな汪氏一派の乘込みは形の上だけは確に「以黨治軍」の第一步として機先を制した閻氏としては改組派を上手に釣つて自派を有利に導かうとしたのだつたが豫想外れで汪氏の北上となつたわけだ。

汪兆銘氏の北上と馮玉祥氏の關係は閻氏の恐れたところである、西山派の連中が山西派と渡りをつけたのに對して、王法勤氏あたりは馮氏とかなりの連絡を持つてゐることは知られ過ぎてゐる、かくして汪兆銘氏の北上は閻錫山を中心とする山西派及び西山派の一味に暗雲を與へ、馮派及び改組派に光明を點じたのは事實である、さて今後これらの乘合船はいづこに辿りつくか、北方政府をはさんでの興味はこれからである【北平特信】

明年度の歲入見積過大に陷るを警戒
減收一億三千萬圓に上る見込 大藏省下調査に着手

【東京廿七日發電通】明年度豫算編成方針決定と共に大藏省ではボツ〳〵歲入見積りの下調査に着手して居るが、歲入見積りは極力過大に陷るを避けて居る、即ち

一、昨年度歲入實績は最後の二、三月に至り豫想以上に惡化し遂に豫算より減收となれる事
一、本年度豫算は六千萬圓といふ巨額の歲入缺陷を生ずる事瞭かとなつた事
一、この本年度歲入見積過大に鑑み明年度歲入豫算は充分愼重に見積つて過誤を重ねぬやうにする必要ある事

等の諸事情に鑑み大藏省では左の如き見積り方針を樹つるに至つた

一、所得稅、營業收益稅を通じ法人課稅は最近數年常に赤字を出し個人課稅の增收を以て豫算額をあげて來たがこれも昨年度は豫算を割る程に惡化したので今回は法人課稅は財界の狀態を考慮し極力內輪に見積る事
二、個人所得稅營業收益稅は明年は本年の一割程度の減收を見る事
三、租稅收入見積方法は前年の實績と財界の狀況を考慮に加ふ
四、例年は前年九月より當年九月迄の實績に照したが今回は金解禁影響が實際に現はれた昨年十月以後本年九月迄の實績を取る

以上の方針によれば明年度租稅收入は恐らく一億千萬圓以上本年度豫算より減收となるべく更に印紙收入官業官有財產收入等の不況を見來れば歲入の自然減は當局の方針と相待ち一億三千萬圓以上に上るものと觀られて居る

撫順製油の納入額一ケ年に約四萬噸
海軍省との契約了る

【東京特電二十七日發】撫順のオイルセール工場における製油の海軍納入契約については既報の如く上京中の牧野滿鐵囑託と海軍省との間に折衝中であつたが既に双方の條件も纏まり廿六日中その書類の作成も終つたので廿八日その正式調印を了するはずである、而して實際の製油納入は既にその第一回分の輸送を了つたが本年度の納入は約四萬噸の豫定で今後一航海毎に約二千二百噸宛即ち一ケ月二航海で約四千四百噸宛を順次運搬納入することになつてゐる、更に本年度以降においては年額五萬噸宛納入する豫定であるが、これは第一期計畫の全能力を發揮した場合の製產額によるものであるから將來第二期計畫實現するにおいては更に納入額も倍加する譯である

廢物の工業化として重要意義がある
水谷滿鐵技術顧問談

【奉天特電二十七日發】撫順のオイルセールは別項の如く愈々工業價値を生じてその製品の海軍納入を實現するに至つたが、右についてこの事業の工業化に努力した滿鐵技術顧問水谷中將は左の如く語つた

オイルセールの實際工業化は大正十一年からの問題だつたが一昨年即ち昭和三年四月起業を決定し工事に着手し昨年十二月それを竣工、引續き試運轉を行つた結果成績極めて良好で

計畫通り 順調に進捗し愈々近くこれを完成しその製品を海軍に納入することになつたのは誠に喜ばしい次第である、元來この事業は撫順において石炭の露天掘を行ふに際し自然出て來たセールが從來不用物として遺棄されてゐたのを巧く利用して製油を企てたもので全くの廢物利用によるものである、殊にその遺棄されつゝあつたセールは相當の油分を含有してゐるのでこれを放置する場合往々引火して火災を惹起する虞れもあり、保安上からも甚だ厄介ものであるから、これを何とか利用して一面その災ひを免かれんがためにこれを有益化するため色々試驗研究の結果所謂

撫順式の 乾餾爐でこれを處理すれば相當經濟的にも引合ふことが明瞭となつたので、遂にこれを工業化した譯だ、しかしこれを單に事業として見る時はなか〳〵困難なものである

それといふのは現に外國などでやつてゐるのはその含油量相當多いけれど撫順のセールは僅に廿七パーセントで而も實際の採油は五パーセントに過ぎない、從つて事業的見地からすれば決して有利なものではないが、廢物を利用して立派な產品を得る所にこの事業の價値がある、換言すればこの種の工業は日本においては勿論東洋全體においても全く初めての試みで、それが今日經濟的にも採算上引合ふまでに至つたことは單り我國のためのみならず滿蒙は勿論支那各地のためにも將來非常な利益を齎らす

劃時代的 の仕事であると思ふ、而してこれは一つの實例だが此種の廢物利用は研究すれば未だ他に幾らでもある、例へば役に立たないものとして斯く廢棄され勝ちの粗惡炭を利用してこれを有用化せしむることなど將來も大に研究しなければならぬことで、滿鐵が現に多大の犧牲を拂つて努力してゐる石炭の低溫乾餾とか或は石炭の液化とかいふ如き事業は今後益々その工業化に努力しなければなるまい、滿蒙は勿論支那各地は炭量極めて豐富であるから此等の事業をしてその工業價値を高からしめ大に近代的の有效な燃料を得るやうにするのはそのこと自體が滿蒙乃至支那各地の富源開發を招來する所以にもなるであらうと信ずる

軍縮問題の成行を注目する
犬養政友會總裁談

【國府津二十六日發電通】犬養政友會總裁は四、五日靜養の豫定で二十六日午前九時東京發熱海に向つたが、時局問題につき車中左の如く語る

ロンドン條約では政府も餘程弱つてゐるやうだ表面は輿論を背景に軍部又は樞府と戰ふなどゝ強い事を言つてゐるが、實際は終始一貫拜み倒しだ、財部海相も軍部最高諮詢機關で國防上缺陷ありと決議されては其の儘安閑としても居られまい恐らく此の際彼も辭めたからうが政府に泣き付かれてずる〳〵居据り如何にも居据り軍人として如何にも見苦しい態を見せた、これは今財部海相に辭められては直ちに政府も連帶責任を負ふて總辭職する外なき破目に陷るので御批准が濟んで國防補充計畫成立迄は極力之を引止め一切が解決して政府に責任が及ばぬ時期を待つて他に何等か理由を求めて勇退させやうとの政府の肚らしいが、財部海相も自分の進退には相當惱んでゐるだらう、樞府が國防上缺陷を生ぜしめた本條約に對し果して諮詢を與へるかどうか審議の結果を俟たねばならぬがよし御諮詢に同意するとしても政府の失態に對する責任を問ふべき強い警告位は必ずつくものと思はれる、其の場合濱口首相がどういふ態度を探るか其處は今後の政局觀として面白い處だが我輩は濱口首相の平素の人物を見て斷じて責任政治家の探るべき態度には出で得ないと思はれる但し財部海相は辭める、我々はこれ等成行には勿論細心の注意は拂つてゐるが、これより尙國家の重大問題たる財界の不況と失業問題の對策に就ては眞面目に考究を續けてゐる近く重要都市に經濟調査委員を特派し其の調査に基きて適切且つ實行性ある具體案を作つて時局に善處せんとするに外ならぬ政府も體面に顧慮せず眞に國家の爲め救濟策を講ぜねばならぬ

首相時局談

【鎌倉二十六日發電通】二十六日午前十一時半葉山御用邸に伺候軍事參議會の奉答文閱覽に關する伏奏を終つた濱口首相は天機奉伺の諸閣僚と共に御陪食仰付られ午後二時退下、御用邸差遣しの自動車にて鎌倉別莊に落付いたが時局に關し首相は左の如く語る

ロンドン條約は樞府御諮詢になつて愈々大詰に入つた譯である樞密院の精查委員會が開かれるまでには書記官長に依つて下調べが行はれるであらうが一週間はかゝるまいと思ふ、政府の所存に就ては委員會にて十分說明する積りである、所謂諒解運動と云ふやうなことは自分には全く出來ない仕事である政府の諮詢奏請決定と軍事參議會奉答文を閱覽せしめられた時間との關係に就て內閣官制を無視したと云ふとかの議論があると云ふが自分には何の事か一向判らぬ、斯る重大案件は諮詢奏請せる政府としては誠意を以てこれに當り種々な邪推や想像に依つて策を弄する樣な事はせぬ、樞府としても誠意を以て審議せらるゝ事と思ふ、軍縮條約と減稅の問題に就ては政府當初の方針通り何等變更はない即ち軍縮剩餘金はこれを他の歲入減の財源に振向け一部は海軍補充計畫に當て殘りは減稅に當てるのである來年度減稅計畫はまだ具體案の樹立を見ぬが來年度に使用し得る額は單に主力艦代艦建造中止に依る年度割額一千萬圓から二千萬圓以內位で右の範圍內にて海軍側を考慮した上減稅に向けるとせば僅少となるは已むを得ぬ此の故に自分は剩餘金に依る減稅とは後年度の剩餘金を總括したものである事を言ふ所以である、來年度豫算編成は歲入激減から豫想以上に困難であらう、從つて新規事業は一切認めぬ事となつた、失業對策には地方起債緩和等にてこれに應じてゐるが、今後更に情勢が其の上の對策を必要とするに至れば別個に之に應ずる處置を採るであらう陸軍々制改革に就ては政府は來年度豫算に其の一部だけでも實現したい事を希望してゐる

失業對策審議
內相官邸にて開會

【東京二十六日發電通】失業防止委員會失業對策部總會は二十六日午前九時內相官邸に開會安達會長以下出席前回に引續き日傭勞働者の失業に對する應急施設につき審議し特別委員會で決定の要綱原案を多少字句の修正をなし失業救濟施設助成に關する項目は尙研究を要するので決定を保留し

政府は速かに救護法を實施する事

の附帶決議と共に右施設要項を可決し安達內相より要項中政府全體及び各省に關する分は首相及び關係大臣に其の趣旨を傳達すべく又內務省に關する限り救護法實施の如きこれを尊重し來議會にこれが豫算を提出すべく努める旨を述べ零時散會尙今後の調査項目は

一、日傭のみならず一般者失業救濟策として開墾事業助成の具體的計畫樹立
一、失業救濟施設の內容的研究
一、職業紹介事務の改善
一、工場鑛山其の他熟練工の失業救濟策
一、智識階級の失業應急策

軍制調査總會

【東京二十六日發電通】陸軍では二十六日午前九時半から軍制調查總會を開き杉山會長以下各委員、幹事出席し從來討議した各級幹部の能力向上に關し士官候補生の補充並に士官學校制度等につき綜合的研究を爲し午後零時半散會したが士官學校制度改正に就いては

一、就業年限延長
一、授業課目增加
一、教育方法改革

等をも研究された

樞府側の下調べ
廿六日から開始

【東京二十六日發電通】樞密院事務局では二十六日午前九時より二上書記官長以下各書記官、外務省より松永條約局長、堀田歐米局長、海軍省より堀軍務局長其の他法制局參事官等參集しロンドン條約下調べを開始し外務、海軍兩當局より說明を聽取し零時十分散會した尙二十七、八兩日は休み二十九日引續き調査審議を爲す筈である

社員意見を總裁聽取

【東京二十六日發電通】仙石總裁は二十六日午後二時から東京支社に理事以下社員を集め意見交換會を開き社內改革問題其他に就き社員の意見を聽取したが右社員の意見中主なるものは

一、社員より理事登用の途を講ぜよ
一、滿鐵附屬用地の國際法上の解釋を統一するため調査會を設くべし
一、拓務省廢止論

等で調査會設置案に對しては臨時業務調査會全委員會に附すべきにつき文書として提出する事となり午後四時半散會した

各閣僚靜養

【鎌倉二十六日發電通】濱口首相は二十六日午後三時鎌倉別邸に落ちつき松子夫人と共に靜養二十八日午前十時鎌倉發自動車で歸京の豫定である又天機奉伺のため葉山に伺候した財部海相は逗子に江木鐵相は海濱ホテルに幣原外相は小坪の別邸に夫れ〴〵靜養二十七日午後又は廿八日朝歸京の筈である

正金鮮銀と貿易局懇談

【東京二十六日發電通】輸出補償法は八月一日より施行さるゝので商工省貿易局は二十六日正金、鮮銀兩行代表者を招致して引受け銀行として補償法實施後の事務につき懇談した

有名な南米アルゼンチンの畫家ペニト・クインクエラ・マルチン氏は美人の理想的タイプを求めて世界行脚を志し既に南米を振出にフランス、イタリー、スペインを訪問し最近に英京ロンドンに着いた▲マルチン氏はその目的につき語る 私は畫家としての見地から理想的美人の型について斯ういふ結論に達した、曰く理想的の美人は單なる一國だけから求めるワケに行かない、數ケ國からその特質を求めてこれを綜合すべきであると、即ち英國婦人の端麗、アイルランド婦人のにこやかなまなざし、スペイン婦人の見事な血色、フランス婦人の粹、イタリー婦人の黑い光澤のある毛髮等々でもしそれらが一括して一人の婦人に求め得れば大したものだがそれは所詮不可能であると思ふ、ロンドン市が世界の何の都市とも異る特色を有すると同樣英國婦人にも嶄然たる特色がある。殊にロンドン婦人は家庭內にあつてその美が發揮されパリの婦人は街頭に於て甚しく魅力がある マルチン氏はこの世界行脚に、カンヴアスの上に「不朽の美人」を描き出すべく意氣込んで居